

諸報告資料

(令和5年門真市教育委員会第2回定例会)

門真市教育委員会



門真市 キャリア教育指針



令和5年2月

門真市教育委員会



門真市の先生方へ

門真市教育委員会教育長 久木元秀平

人はなぜ働くのか、何のために働くのか……。

数年前、「小学生の65%が今存在しない仕事に就く」との言説が関係者に衝撃を与えました。その真偽はともかく、IT技術やAI・ロボットの進展は想像を超えるものがあります。コロナ禍ではリモートワークも一気に進みましたが、今日、フリーランスの増加とともに、起業、副業、転職、そして外国人との協働も当たり前の時代になってきました。このように仕事の内容や人々の働き方が劇的に変わりつつある中、将来働くために今すべきことは何か。あなたは今、子どもたちに何を考えさせますか。

また、技術革新やグローバル化の一方で、人口減少・少子高齢化、女性の社会進出、家族や地域社会の変容など、子どもたちを取り巻く身近な環境も大きく変化しています。平均寿命も延び「人生百年時代」と言われる今日、社会の変化に柔軟に対応し、心豊かに生きていくうえで必要なことは何か。あなたは今、子どもたちに何を考えさせますか。

さらに、令和4年度の全国学力学習状況調査アンケートによりますと、本市の子どもたちは、全国と比べて、自尊心が低く、失敗を恐れ「イヤ」と言えない傾向があります。さらには、子どもたちのレジリエンスの弱さについて、多くの先生からの声を聞きます。この子たちが、これから遭遇する困難に立ち向かい、くじけずたくましく生きていくために必要な力は何か。あなたは今、子どもたちに何を考えさせますか。

このような状況を踏まえると、「昭和的」なモデルを前提とした教育を推進するだけでは、先行き不透明で将来予測が困難な時代を生き抜く子どもを育むことはできません。学校での学びが社会や未来とどのようにつながっているか、また、学校で学ぶすべての教科がいかに大切かということ意識させ、主体的に考えさせる授業に取り組むことが求められます。その際、地域との連携や協働を図ることにより、より効果を発揮することが期待できます。

そこで、このたび9年間を見据えたキャリア教育を全小中学校で展開するために、授業の方向性を示す「門真市キャリア教育指針」を作成しました。

この指針に基づき、発達段階に応じた教育を推進することで、子どもたちの学びの意欲を高め、「将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども」（門真市教育振興基本計画）の育成、並びに「人情味あふれる笑いのたえないまち門真」（門真市総合計画）の実現に資することになると考えます。

この指針は各校のキャリア教育担当者との協働により作成されたものです。子どもたちが理想の大人像を描き、未来に希望を持ち、そして地域にも関心を持ち、自立心ある市民に育つために、各校・教職員の皆様におかれましては、この指針を活用し、子どもたちと一緒に学び、考えることで、子どもたちの「学びの心」に灯をともし授業を展開されることに期待します。そして優れた授業例を交流し、この指針のバージョンアップをし続けてくださるようお願いいたします。

目次

キャリア教育とは	P.2
キャリア発達とは	
基礎的・汎用的能力	
学習指導要領とキャリア教育の関連	
大阪府におけるキャリア教育	
中心取組みのすすめ方	
キャリア・パスポート	
進路指導とキャリア教育	
キャリア教育の要としての「特別活動」	
「特別活動」の学級活動（3）における学習の過程	
各学校におけるキャリア教育を推進するために（役割分担）	
門真のめざす教育（めざす子ども像）	P.6
大切にしたい3つの人とのつながり	
これまでの門真市のキャリア教育（小中一貫含む）に関する取組み	P.6
門真市におけるキャリア教育の成果と課題	
「門真市版キャリア教育」	P.8
「門真市版キャリア教育」でつきたい力	
「門真市版キャリア教育」と基礎的・汎用的能力との関連	
「門真市版キャリア教育」でつきたい力の系統性について	
「門真市版キャリア教育」を实践するための「モデルプラン」	P.10
モデルプラン（9学年の取組み一覧）	
単元計画案	
「門真市版キャリア教育」の効果・検証に向けて	P.25
現状と目標	
「門真市版キャリア教育」の推進するために	P.25
資料編	P.26
門真市版キャリア・パスポート（解説）	
キャリア・パスポートQ&A	
国・府・市の参考資料	



一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促す教育

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」平成 23 年 1 月 31 日 中央教育審議会 より引用

＜キャリア発達とは＞

社会の中で自分の役割を果たしながら，自分らしい生き方を実現していく過程を「キャリア発達」という。

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」平成 23 年 1 月 31 日 中央教育審議会 より引用

＜基礎的・汎用的能力＞

	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
どのような力か	多様な他者の考えや立場を理解し，相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに，自分の置かれている状況を受け止め，役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し，今後の社会を積極的に形成することができる力である。	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について，社会との相互関係を保ちつつ，今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に，自らの思考や感情を律し，かつ，今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し，適切な計画を立ててその課題を処理し，解決することができる力である。	「働くこと」の意義を理解し，自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け，多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら，自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力である。
例	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の個性を理解する力 ・他者に働きかける力 ・コミュニケーション・スキル ・チームワーク ・リーダーシップ 等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の役割の理解 ・前向きに考える力 ・自己の動機付け ・忍耐力 ・ストレスマネジメント ・主体的行動 等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の理解・選択・処理等 ・本質の理解 ・原因の追究 ・課題発見 ・計画立案 ・実行力 ・評価・改善 等	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶこと，働くことの意義や役割の理解 ・多様性の理解 ・将来設計 ・選択 ・行動と改善 等

小学校キャリア教育の手引き＜改訂版＞ 平成 23 年 5 月 文部科学省 より引用

＜学習指導要領とキャリア教育＞

求められていることは、小学校から高校までほぼ同じ。
(中学校から「進路」に関する文章が増えます。)



【小学校】 総則 (3) キャリア教育の充実 (第 1 章第 4 の 1 の (3))

(3) 児童が，学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら，社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう，特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて，キャリア教育の充実を図ること。

【中学校】 総則 (3) キャリア教育の充実 (第 1 章第 4 の 1 の (3))

(3) 生徒が，学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら，社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう，特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて，キャリア教育の充実を図ること。その中で，生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう，学校の教育活動全体を通じ，組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。

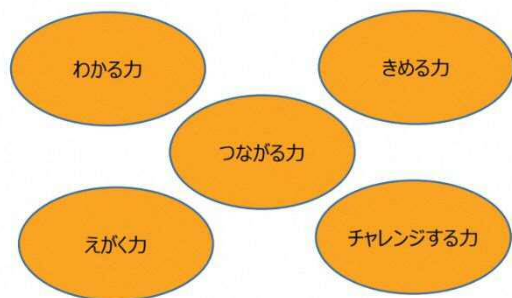
【高等学校】 総則 (3) キャリア教育の充実 (第 1 章総則第 5 款 1 (3))

(3) 生徒が，学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら，社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう，特別活動を要しつつ各教科・科目等の特質に応じて，キャリア教育の充実を図ること。その中で，生徒が自己の在り方生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう，学校の教育活動全体を通じ，組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。

<大阪府におけるキャリア教育>

大阪府では、キャリア教育の充実に向けて小中9年間の系統的な取組みを行うため、各市町村の中学校区でキャリア教育全体指導計画を作成しています。また、学校が子どもに「つきたい力」を明確にし、設定した「中心取組み」の前後でその力がついたのかを検証し、取組みの改善につなげていくことを進めています。国の「基礎的・汎用的能力」を踏まえ、大阪府では、学習における5つの「つきたい力」として、学年ごとに系統性を整理しています。

大阪府の5つの「つきたい力」



大阪府 キャリア教育リーフレット② 令和元年 12月 大阪府教育庁 小中学校課 より引用

<中心取組みのすすめ方>

キャリア教育を行うにあたって、指導場面を明確にするとともに、子どもがどのように変容したのかを把握し、また子どもたち自身もキャリア教育でつけた力を実感できる取組みをすすめる必要があります。その具体的な方法として、「**中心取組み**」ですすめるキャリア教育が有効です。

P (1) 「中心取組み」とその取組みで「つきたい力」を決める

決める



○キャリア教育全体指導計画に示している年間の取組みの中などからそれぞれの学年で子どもの実態に応じて、1つ以上の「中心取組み」を決めましょう。

※中学校区の小小間で、ある程度中心取組みがそろっていると中学校での指導が円滑に行えます。以下も参考にしてください。

特に時間数を多く設定している、子どもの変容や「つきたい力」がついたかを見取りやすい、地域との連携が多い、子どもに出会わせたい人たちとの活動がある、人とのつながりを大事にしている、中学校区のキャリア教育の系統性 など

D (2) 取組みの実践

取組む



○「つきたい力」を意識し、授業を実践しましょう。

○子どもに「つきたい力」がついたのか、子どもがどのように変容したのかを客観的に見取るために「中心取組み」の前後で、アンケートを実施したり、子どもたちの発言や記録等をメモしたりするなど、記録を残しておきましょう。

C (3) 「中心取組み」を分析・検証する

たしかめる



○子ども自身が振り返る

子ども自身が「中心取組み」の前後で自分がどのように変わったのかに気づき、自分の成長を実感するために、事前と事後のアンケートの比較や学習内容を蓄積したキャリア・パスポート等とあわせて学習を振り返るなどの「自己評価」ができる時間を単元末や特別活動の時間等に設定しましょう。

○教師が子どもの変容を見取る

教員は「中心取組み」の分析・検証に向けて、まずは個々の子どもがどのように変容したのか捉えましょう。そのためには、アンケート結果やワークシート、キャリア・パスポート等による振り返りといった事後の情報だけでなく、活動中に気がついた子どもの様子のメモもあわせて見取りましょう。そして、子ども自身が成長したか、子どもの課題は何か、また、取組みの設定に課題はなかったかなどを検証しましょう。

A (4) 「検証した内容をもとに「改善」を図る

よりよくなる



検証した結果をもとに、校内や中学校区などで取組み内容とともに成果と課題の情報共有を行い、次年度の取組みやキャリア教育全体計画、キャリア・パスポートの見直しなどに生かせるようにします。資料や成果と課題をまとめ、次年度に引き継ぐことも有効です。

<キャリア・パスポート>

キャリア・パスポートとは

子どもが、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動を要として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成をふりかえったり、先を見通したりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるポートフォリオ的な教材です。

キャリア・パスポートの意義

子どもにとって ふりかえりの中で自らの変容に気づき、自己理解を深めるためのものとなり、また、それをふまえて将来の自分の姿をえがき、主体的に学びに向かう力をつけていくものです。

教員にとって 子どもが小学校から高等学校までの間でどのような学びを積み重ね、成長してきたのか、子どもへの理解を深め、個に応じた系統的な指導に生かすためのものです。

大阪府 キャリア教育リーフレット② 令和元年 12月 大阪府教育庁 小中学校課 より一部引用

<進路指導とキャリア教育>



「キャリア教育」は就学前から初等中等教育・継続教育・高等教育を貫き、実践されるものです。一方、「進路指導」は理念や概念は同じものではありませんが、中学校・高等学校に限定される教育活動です。つまり、進路指導＝キャリア教育ではなく、キャリア教育の一環として進路指導があるイメージです。中学校・高等学校で適切な進路選択を行うためにも中学校よりも前の段階から系統的に基礎的・汎用的能力の育成することが必要です。

中学校キャリア教育の手引き 平成23年3月 文部科学省より引用

<キャリア教育の要としての「特別活動」>

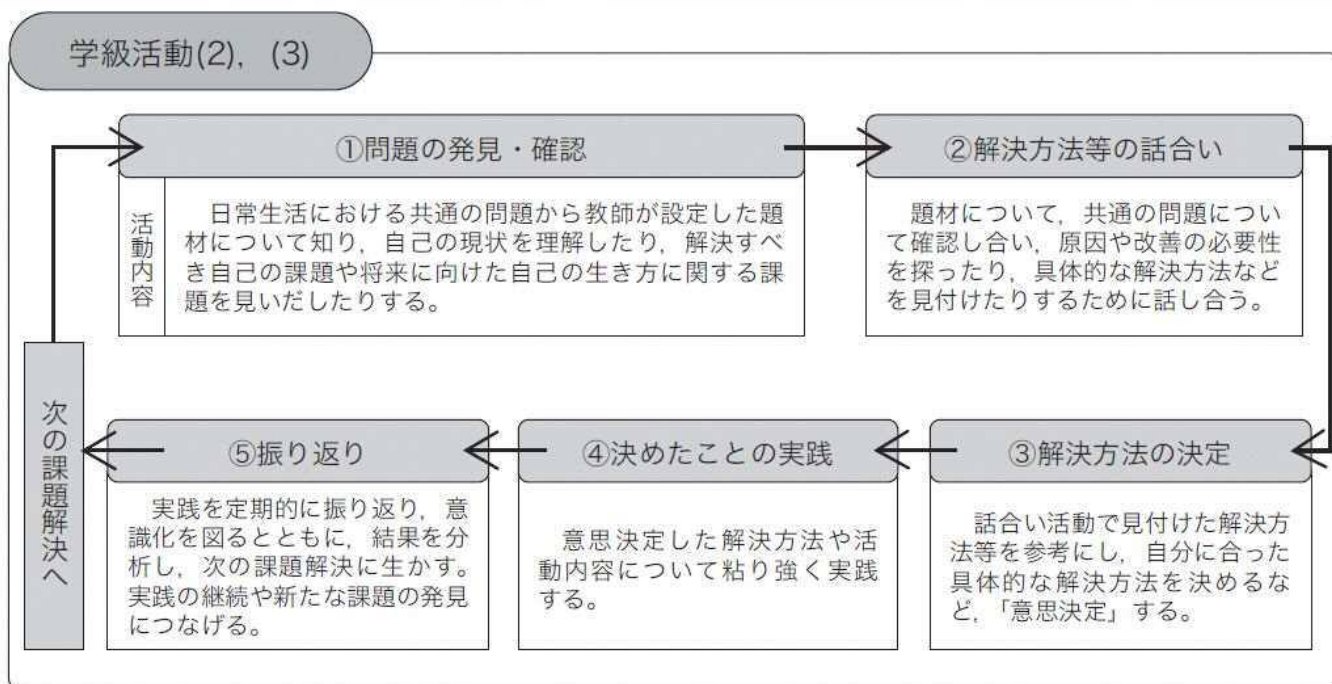


学習指導要領には、特別活動を要として、各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ることとの記載があります。つまり、**特別活動を要として、教育活動全体で教科横断的にキャリア教育を実践していく必要**があり、キャリア教育は特別活動だけで行われるものではないということです。

キャリア教育として実践したものを特別活動で「まとめ、紡ぐ」イメージです。そのまとめ、紡ぐ際には、「キャリア・パスポート」の活用が有効です。

<「特別活動」の学級活動（3）における学習の過程>

学級活動「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」、
学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の学習過程（例）



小学校学習指導要領（平成 29 年度告示）特別活動編 平成 29 年 7 月 文部科学省より引用

特別活動における学級活動の学習過程例です。従来、将来の夢や目標・進路を考えたりする学習などは、総合的な学習の時間の探究的な学習の過程の中で行われていることもありますが、中には、特別活動の学級活動（3）の学習過程の中で行うことが適切である教材もあるかもしれません。次のページに記載している「門真のめざす教育」や「めざす子ども像」を達成するためには、特別活動を要に教育活動全体でキャリア教育を行うということが大切です。今一度、自校や自身のこれまでの特別活動の学習をふりかえってみましょう。

<各学校におけるキャリア教育を推進するために>（役割分担）

小小連携・小中連携だけでなく、各学校でキャリア教育をより推進していくためには、それぞれの先生にいかにかキャリア教育の視点を持っていただくかが鍵となります。下記にそれぞれの役職の役割分担例をまとめました。キャリア教育をキャリア教育担当者や進路指導担当者だけが取り組み、推進するのではなく、すべての教職員がすべての教育活動でキャリア教育の視点（つきたい力を理解し、意識する）をもち、子どもたちに関わることができるよう、各校においても担当者中心に役割分担しつつ、チーム学校として取組みを推進していきましょう。

役職など	役割（例）
校長	キャリア教育推進の方針を決定、キャリア教育と学校教育目標との関係について整理など
教頭	運営体制の整備、学校運営協議会や地域学校協働本部など、校外の学校への支援者・支援団体との連絡・調整など
キャリア教育担当者	キャリア教育の進捗状況の把握、キャリア教育推進に係る連絡・調整、先進地域の視察や研修会への参加など
教務主任	キャリア教育の視点を踏まえた教育課程の編成、キャリア教育全体計画の作成など
研究主任	キャリア教育の視点を踏まえた年間指導計画の作成、キャリア教育の評価など
各教科の担当者	キャリア教育の視点の共有、授業の実践など
生徒指導担当	キャリア教育の視点を踏まえた開発的生徒指導の検討・周知・実践など
進路指導担当	自校や校区・市のキャリア教育のキャリア教育の視点を踏まえた進路指導
各学年代表	各学年との情報共有・連絡・調整

門真のめざす教育

門真市のめざす教育では、3つの人とのつながり（縦のつながり、横のつながり、将来の自分とのつながり）を創ることを大切にしています。この3つの「つながり」を軸に、子どもたち一人ひとりが自分の生き方を見つけてほしいという思いを子どもに関わるみんなが共有し、様々な立場の人とともに、一貫性や系統性を持って子どもを育て、見守ることをとおして、門真のめざす「将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども」に育てていきます。

門真市のめざす子ども像

将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども

<大切にしたい3つの人とのつながり>



「縦のつながり」を創る

異年齢や異学年、また、大人も含めた様々な年齢の人との関わりのできるつながりによって、子ども自身が自分の将来への具体的なイメージを抱くことができたり、あのようになりたいという憧れの気持ちを抱いたり、子どもたちの中に優しさや包容力が備わることを期待しています。

こうした「縦のつながり」を創るため、門真市では、小中一貫教育の推進に取り組んでいますが、変化の激しい現代社会において、小・中学校の9年間を通して子どもたちを育てていくことや、小中間の段差を緩やかにしていくことがますます重要となってきました。小中一貫教育を一層推進します。

「横のつながり」を創る

同学年、同級生との関わりや、地域の人や保護者との関わりによってできるつながりを通して、多様な人間関係を構築しながら、その中で様々な考えに触れ、人とつながる力を身に付けることができるとともに、子どもを真ん中に、学校と地域が「一緒になって子どもの成長を見守ることができることを期待しています。

こうした「横のつながり」を創るため、同年齢の子どもたちが関わり持ち、多様な仲間と共に人とつながる力を身に付けていくことや、切磋琢磨しながら成長していく環境づくりを進めます。また、地域の様々な立場の人が学校と関わる機会を増やし、地域に開かれた学校づくりにより、学校を中心とした地域のつながりの中で、子どもたちを多くの目で見守っていくことができる環境づくりを推進します。

「将来の自分とのつながり」を創る

子どもたちが成長する過程において生じる人とのつながりや、そこから得た学びを、成長段階に応じて積み重ね、今の自分と将来の自分とをつなげて考えることででき上がってくるつながりを大切にするすることで、子どもたちが将来の姿をイメージしながら成長することができ、予測不可能な時代を自ら切り拓く力を身につけるとともに、自立に向けて育っていくことができることを期待しています。

こうした「将来の自分とのつながり」を創り、将来の可能性を拡げることができるように、子どもたちが将来の自分の姿を具体的にイメージし、その自己実現に向けて、主体的、そして意欲的に学びに向かうモチベーションを高めることができるような教育活動を推進します。

門真がめざす教育とこれからの学校づくり実施方針 令和3年3月 門真市教育委員会 より引用

これまでの門真市のキャリア教育（小中一貫含む）に関する取組み

年度	これまでの取組み
H19年度	門真市小中一貫教育推進プラン 策定
H21年度	小中一貫教育課程等研究委員会 立ち上げ、中学校区小中一貫教育推進協議会 立ち上げ
H22年度	小中一貫教育課程等研究委員会 実施（全7回）
H23年度	小中一貫教育課程等研究委員会を一貫教育課程研究委員会に名称変更（全6回）、保幼小中合同研修会 実施
H24年度	一貫教育課程研究委員会 実施（全6回）、保幼小中合同研修会 実施
H25年度	一貫教育課程研究委員会 実施（全4回）、保幼小中合同研修会 実施
H26年度	一貫教育課程研究委員会 実施（全4回）、保幼小中合同研修会 実施
H27年度	一貫教育課程研究委員会 実施（全4回）、保幼小中合同研修会 実施
H28年度	一貫教育課程研究委員会を「めざす子ども像」検討委員会に名称変更（全3回）、中学校区キャリア教育全体指導計画作成
H29年度	「めざす子ども像」検討委員会 実施（全2回）
H30年度	「めざす子ども像」検討委員会 実施（全1回）
H31（R1）年度	キャリア教育担当者連絡会 実施（全1回）
R2年度	キャリア教育担当者連絡会 実施（全1回）
R3年度	キャリア教育担当者連絡会 実施（全3回）、門真市「キャリア教育指針」作成
R4年度	キャリア教育担当者連絡会 実施（全3回）、門真市「キャリア教育指針」作成・周知

<門真市におけるキャリア教育の成果と課題>

門真市では、平成 28 年に「中学校区キャリア教育全体指導計画」を作成し、各中学校区それぞれで、あらゆる教育活動のもととなる「めざす子ども像」を設定しました。そして、その実現に向けて、各学校で子どもの実態や課題に応じた優れたキャリア教育の取組みを進めています。しかし、一方で、校区のめざす子ども像の実現を意識した「中心取組み」が系統的に実施できていないことや、優れた取組み事例があっても情報共有が小小・小中間で十分にできていないこと、キャリア教育を通して子どもたちに「つきたい力」がついたのかを把握するなど、検証が十分にできておらず、取組みの改善につなげることができていない等の課題が見られます。また、令和 2 年度より活用が始まった「キャリア・パスポート」についても、より一層の有効活用とともに校区としてのつきたい力を意識した様式への改善等が課題となっています。これらの課題を解決し、将来の「自立」に向け、自分の生き方を考える子どもに育てるため、中心取組みや各教科でのキャリア教育を大切にした「門真市版キャリア教育」を推進し、上記の課題の改善を図ります。

<先生たちの声>



キャリア教育といっても、何をすれば良いかわかりません。

単発の取組みに終始しがちで、PDCA サイクルに基づいてキャリア教育を実施することができていません。



小・中連携や小・小連携をする中で、系統性・一貫性を持たせることが難しいです。

学校（教職員）のキャリア教育に関する意識が統一できていません。



企画や教材研究等を行う時間がなく、具体的な取組み事例や指導方法など、参考にできる情報も少ない気がします。

指針を出しても、校区の取組みに反映しなければもったいない。指針とあわせて、中学校区でキャリア教育について、もっと話し合う機会が必要だと思います。



キャリア・パスポートをうまく日々の授業と関連させて活用できていない。どう使えばよいのでしょうか。

中心取組みが校区の小学校でバラバラな気がする。中学校としては、指導がしやすくなるよう小小で中心取組みをそろえてもらうなど、今一度、校区としてつきたい力を意識し、キャリア教育を「校区で」実践していきたい。



進路指導＝キャリア教育と思っている先生も中にはまだおられる。進路指導も含め、教育活動全体で、系統的に基礎的・汎用的能力をつけていくことが必要。



1つ1つ改善していきましょう。

「門真市版キャリア教育」

門真がめざす子ども像や各中学校区のめざす子ども像の実現に向け、門真市教育委員会では、門真市教育振興基本計画 2021（令和3年2月）において、基本目標として「チャレンジする力、生き抜く力、つながる力」を掲げています。この3つの力を「門真市版キャリア教育でつきたい力」として設定し、そこに「門真のめざす教育」で大切にしている「3つの人とのつながり（縦のつながり、横のつながり、将来の自分とのつながり）」の視点を入れたものが「門真市版キャリア教育」です。これらを行事や総合等のいわゆる「中心取組み」だけでなく、各教科の普通の授業でもこの「門真市版キャリア教育」の視点を意識し、かつ系統的に指導することで、将来の自立に向けた基礎的・汎用的能力を小中9年間の連続した学びの中で育てていきます。

自立

門真市がめざす子ども像

「将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども」

ライフキャリア
(生き方)

非認知能力

ワークキャリア
(働き方)

門真市版キャリア教育でつきたい力

(チャレンジする力・生き抜く力・つながる力)

縦のつながり

横のつながり

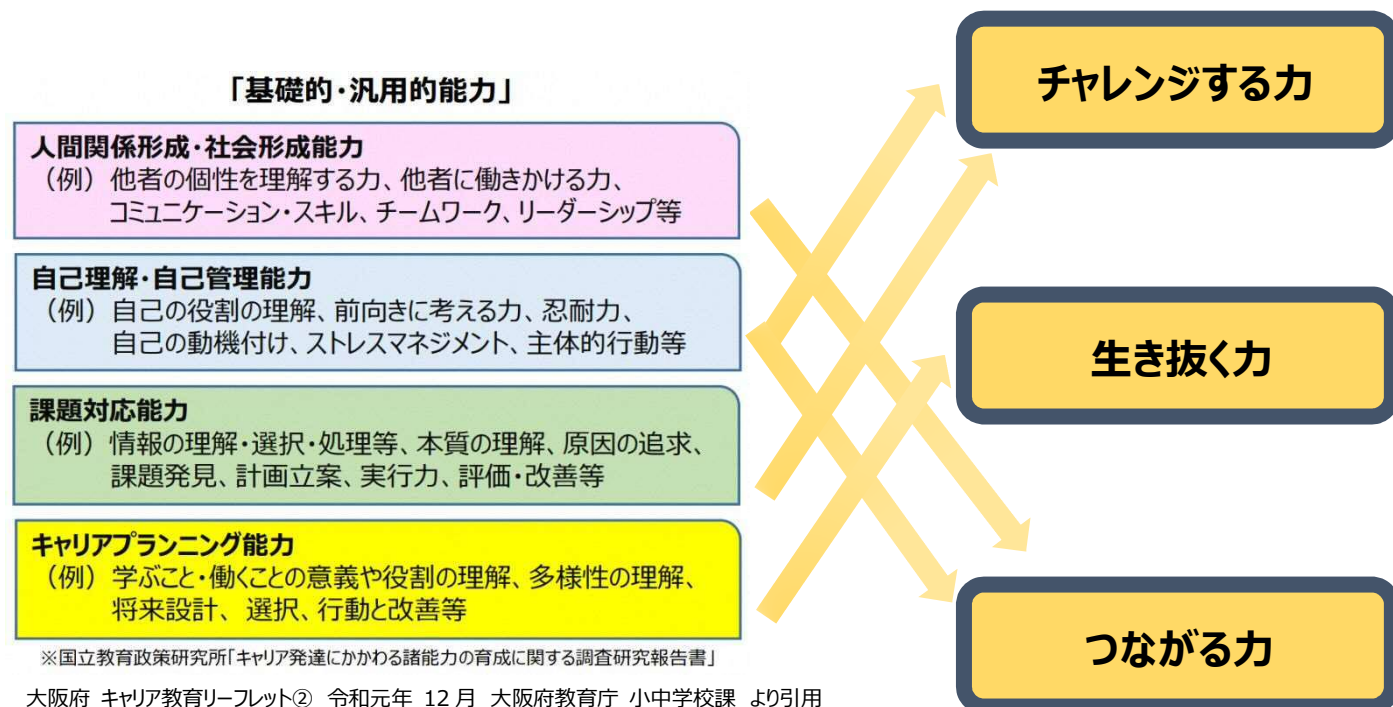
将来の自分とのつながり

<「門真市版キャリア教育」でつきたい力> (例)

= 門真市版キャリア教育

チャレンジする力	課題解決能力, 計画性・見通しをもって目標に取り組む, 主体的に目標に取り組む, 役割を果たす, 個性を生かす, 情報を収集し、整理・分析する力, 苦手なことや困難なことにも向き合う, 前向きに考える, 粘り強さ, 立ち直る力 (レジリエンス), 新しいことに挑戦する, 新たな疑問を見つける (課題発見), 新しいことを生み出す (創意工夫) 等
生き抜く力	将来の夢や目標を持つ, 職業や働き方について知る, 進路選択, 将来の夢や目標のかなえ方を考える, 自分自身を知る, 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解, 自己選択・自己決定 等
つながる力	相手の話を聞く, 相手の話を理解する, 相手の話や気持ちや意見を尊重する, 相手の個性を理解する, 場に応じた適切な会話ができる, ストレスマネジメント, 困っているときや悩んでいるときに相談できる, 他者に働きかける, コミュニケーション能力, リーダーシップ, チームワーク 等

<「門真市版キャリア教育」でつきたい力と基礎的・汎用的能力との関連>



<「門真市版キャリア教育」でつきたい力の系統性について> (例)

	小学校		中学校	
	就学前～低学年	中学年	高学年～中学校1年生	中学校2年生～ 中学校3年生
チャレンジする力	興味のあることに積極的に取り組む。	好きでないことや苦手なことにも取り組む。	失敗してもあきらめず、困難なことにも挑戦する。	答えの出ない課題など、困難なことにも挑戦する。
	分からないことは友だちに聞いたり、調べたりする。	分からないことなどがあるときは、地域や保護者・本・インターネットなどを活用し、調べようとする。	地域や保護者・本・インターネットなどから情報を収集し、自分が納得できる答えをみつける。	情報収集したものを整理・分析し他者も納得できる答えをみつける。
生き抜く力	将来の夢や目標を持つ。	今の自分にできることを考え、計画する。	将来の夢や目標を叶えるために自分に必要な力は何か考える。	将来の夢や目標を改めて考え、進路につなげる。
	自分で決める。 自分で選ぶ。	自分の考えを持つ。	いくつかの情報や他の意見などを客観的に捉えた上で自分の意見を持つ。	多様な進路の中から自分に適した進路とは何かを考え、選択する。
つながる力	友だちと一緒に取り組む。 友だちと仲良くする。	グループやクラス・学年などで協力して活動や課題解決に取り組む。	地域や保護者・先輩などの周りの力をうまく借りながら、課題解決に向けて協働する。	
	自分の気持ちを知る。 自分の意見を伝える。	友だちの話を聞いた上で自分の意見や思いを伝える。	相手の意見や思いを理解した上で自分の意見や思いを伝える。	相手の意見を尊重し、自分の意見や思いを工夫しながら伝える。

上記の系統表はあくまで例であり、この系統表でキャリア教育すべてを網羅できるわけではありません。門真市版キャリア教育でつきたい力や自校、校区のつきたい力をもとに系統表を作成してみましょう。



モデルプラン

門真市版キャリア教育 モデルプラン

P.14 以降に、各校の実践報告をもとに教職員とともに作成した単元計画と展開例（一部）を記載しています。



キャリア教育は特別活動の時間を要として、教育活動全体で実施していくべきですが、どの取組みで「つきたい力」がついたのか等、取組みの検証・改善を図ることが難しい側面があります。そこで「中心取組み」を行うことが効果的です。ここでは、「門真市版キャリア教育でつきたい力」・「人とのつながり」の視点を入れた『門真市版キャリア教育』を実践する上で、参考にしていただける「中心取組み」ならびに各教科等で実践可能なモデルプランの一例を示しています。

学年	単元・内容	つきたい力（重点）
1年生	【生活】 じぶんでできるよ 家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見つける中で、自分の役割を積極的に果たす。	チャレンジする力 （自己理解・自己管理能力）
	【生活】 がっこう だいすき 中心取組み 学校探検や通学路探検を通して、自分との関わりをみつけ、学校生活を支えている大人や上級生、通学路の安全を守っている地域の人たちなどのことが分かるとともに、学校生活のこれからに見通しを持つ。	生き抜く力 （キャリアプランニング能力）
	【国語】 わけをはなそう 相手に自分の伝えたいことが伝わるように順序を考えながら、行動したことや経験したことを話す学習を通して、普段の生活においても活用ができるよう相手に自分の意見をうまく伝える練習をする。	つながる力 （人間関係形成・社会形成能力）
2年生	【生活】 うごく うごく わたしの おもちゃ 作りたいおもちゃの設計図を描いて計画を立てる。また製作にあたっては身近なもので必要な材料を使う。製作後、友達と交流し、おもちゃがよりよく動くよう、改良をする。最後に改良したおもちゃで、上級生として1年生との交流を行う。	チャレンジする力 （課題対応能力）
	【生活】 あしたへジャンプ（大きくなった自分） 中心取組み 自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見つめたりして、自分のできるようになったことや、役割が増えたことなどに気づき、これからの学習や生活に意欲的に取り組もうとする。	生き抜く力 （キャリアプランニング能力）
	【生活】 もっと なかよし まちたんけん 中心取組み 地域を訪問し、インタビューするなど、地域の人々と関わる活動を通して、地域と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したりしようとする。	つながる力 （人間関係形成・社会形成能力）
3年生	【総合】 わたしたちの町 かどま 中心取組み 社会科で門真市について学習する中で、子どもたちから出た疑問などを総合的な学習の時間の探究課題として設定し、探究を進める。その中で、地域や保護者にインタビューし、情報収集するなど、自分たちが集めた「根拠」をもとに、話し合う大切さを知るとともに、地域等との横のつながりを持つ経験を積む。	チャレンジする力 （課題対応能力）
	【社会】 はたらく人とわたしたちのくらし 「店ではたらく人」 中心取組み 地域のお店ではたらく人にインタビュー等を行う学習の中で、販売の仕事に携わる人々は、お客さんのさまざまな願いをふまえ、売り上げを高める工夫や努力をしながら仕事をしていることを知り、仕事の大変さや面白さ・やりがい等に気付く。	生き抜く力 （キャリアプランニング能力）
	【外国語活動】 Let's Try! 1 「Unit4・Unit5」 Unit4 (I like blue.), Unit5 (What do you like?) の学習の中で、英語を用いて自分の意見を相手に伝えようとするとともに、相手の伝えたいことや相手のことを理解しようとする。	つながる力 （人間関係形成・社会形成能力）
4年生	【社会】 自然災害からくらしを守る 「地震からくらしを守る」 地震について学習した上で、門真市ではどのように地震に対応しているのか、改善点はないのか、そもそも自分の家ではどうなのかなど、通学路の調査や市役所・地域住民・保護者等へのインタビューなどを通して得た情報をもとに、地域や家庭などの今とこれからの防災について考える。	チャレンジする力 （課題対応能力）
	【保健】 体の発育・発達 男女の体つきの変化や思春期による心の変化は、個人差はあるものの誰でも経験することであることを知り、プライベートゾーンがとても大切な場所であることや不必要に見せたり、触らせたり、触ったりしないことが大切であることを改めてふりかえる。また、健康に成長していくには、適切な運動・食事・休養及び睡眠が必要であることを知り、目標を立てて、取り組もうとする。	生き抜く力 （キャリアプランニング能力） つながる力 （人間関係形成・社会形成能力）
	【総合】 男女共生 中心取組み 道徳での自分と友達とのちが（「貝がら」）、保健での男女の違い（「体の発育・発達」）などの学習や、その他職業おけるイメージ（例 女性パイロット・男性看護師）などについての交流を通して、「あってよいちが」と「あってはいけないちが」について考える。	生き抜く力 （キャリアプランニング能力） つながる力 （人間関係形成・社会形成能力）
5年生	【国語】 みんなが過ごしやすい町へ 身の回りにある、みんなが過ごしやすい場所になるための工夫について、実際に見学や調査をし、報告書を作成する学習を通して、地域のことを改めて知ったり考えたりする中で、自分たちが住んでいるまちや普段過ごしている学校のよさに気付く。	つながる力 （人間関係形成・社会形成能力）
	【家庭】 私の生活、大発見！ 家庭には、家庭生活を支えるたくさんの方の働きがあり、たがいに協力し分担する必要があることを理解する。その中で、家族の大切さや成長した今の自分が家庭のためにできることはないかを考え、実践する。	生き抜く力 （キャリアプランニング能力）
	【体育（保健）】 心の健康 「不安やなやみへの対処」 これまでの不安になったり、悩んだりした自分自身の経験をふりかえった上で、「対処の仕方」（周りの人に相談する、休養する、友達と遊ぶ等）を知り、自分に合った対処方法を考えたり、「SOSの出し方」について実践を行ったりする。	つながる力 （人間関係形成・社会形成能力） つながる力 （自己理解・自己管理能力）

6 年 生	【総合】 租税教育 中心取組み 社会科で1学期に学習した「税」について、出前授業などを通して自分たちの生活と「税」が密接に関わっていることを知り、その後、「税」についての探究活動を行う。その中で、「税」の必要性について理解するとともに、「働くこと」の必要性を理解する。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
	【国語】 今、わたしは ぼくは 将来の夢や目標等について、かなえるために今、頑張りたいこと（必要な力）を考え、資料を用いてスピーチをする。その中で自分自身の発表だけでなく友だちの夢や目標などを聞くことで、自分自身のこれからについて改めて考え、見通しを持つ。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
	【特別活動】 1.6 交流 中心取組み 1年生と交流する上で、1年生や1年生担任の要望や思い、1年生という発達段階等も考え、子どもたち自身が企画・提案を改善しながら1年間を通して交流を行う。その中で、取組みをふりかえり、改善し、さらにより取り組みにつなげるというPDCAサイクルを活発なコミュニケーションを通して経験させ、コミュニケーションの大切さや、取組みをふりかえり、改善する大切さに気付く。	つながる力 <small>(人間関係形成・社会形成能力)</small>
中 1 年 生	【総合】 SDGs 中心取組み 様々な教科等で出てきたSDGsについてさらに詳しく調べの中で、現代社会における課題を知り、目標の達成に向け、「今、自分たちができること」をグループになり、探究する。 ※市役所や地域施設にも協力を得ながら探究活動を行う。	チャレンジする力 <small>(課題対応能力)</small>
	【総合】 高校体験 中心取組み 高校体験を通して（前後の学習も含む）、中学1年生の段階から自分自身の将来や進路について考える中で、将来や進路のために今自分自身に必要なことは何かを整理し、その考えた内容を実行する。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
	【保健体育】 心身の発達と心の健康 心と体が密接に関係していることを知り、心の健康を保つためには、心身の調和を保つことが必要であることを理解する。また、欲求不満やストレスへの対処について学習し、ストレスへの対処には様々な方法があることを理解するとともに、自分に合ったストレスへの対処を考える。	つながる力 <small>(自己理解・自己管理能力)</small>
中 2 年 生	【社会(地理)】 地域の在り方 中心取組み 門真市という「まち」はまちづくりが進み、「まち」が大きく変化している。門真市という地域の魅力を市役所や地域の手を借りながら、地域住民に発信をしていく。また、企画提案する中で様々な人との交流やつながりを通して地元愛を深めるとともに、地域の課題や「つながり」の大切さに気づく。	チャレンジする力 <small>(課題対応能力)</small>
	【総合】 職場体験 中心取組み 職場体験を通して（前後の学習も含む）、自分自身の将来について考える機会とする。また、その中で今後の進路について考え、そのために今必要なことができているのかを振り返り、改善していく機会にする。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
	【保健体育】 健康な生活と病気の予防② 小6体育（保健）で学習した喫煙や飲酒、薬物などについて改めて学習するとともに、それらを誘われたときの上手な断り方について考え、実習する。そうすることで、アサーションスキルを高め、これら以外のトラブルに出くわしても回避できる力をつける。	つながる力 <small>(人間関係形成・社会形成能力)</small>
中 3 年 生	【公民】 現代の民主政治（主権者教育） 中心取組み 小学校6年生で既習した「政治」について思い出しながら学習を進める中で、選挙の意義と仕組みを学習し、実際の選挙がどのように行われているかを知る。その後、実際に選挙で使用している投票箱などを用いて模擬選挙を行うなどの活動を通して、主体的に政治に参加しようとする。	チャレンジする力 <small>(課題対応能力)</small>
	【総合】 大学体験 大学について調べるだけでなく、実際に自分の興味のある大学に訪問し、授業体験や施設見学を行う。また、その前後の学習の中で、自分の将来について改めて考える機会とし、今後のよりよい進路選択につなげる。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
	【保健体育】 健康な生活と病気の予防③ 性感染症などの様々な感染症について学習し、予防するための方法などを知るとともに、地域にある人々の命や健康を守る保健機関とその役割、医療機関の利用の仕方や医薬品の正しい使い方などについても学習し、本単元で得た知識を将来に生かせるようにする。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
高学年～ 中学生	【特別活動】 「夢や目標って必要？」 中心取組み 実際に働いている人や夢の為に努力をした人などから話を聞いたり、自分たちの生活に関わっているけれど普段見えていない仕事について調べたりする活動などを通して、自分の夢や目標を改めて考えるとともに、中学校に向けて、今から努力していきたいことを考える。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
高学年～ 中学生	【特別活動】 「英語の勉強って本当に必要？」 中心取組み 課題解決を行う中で、新たな疑問をもつなど、「課題対応能力」を育てるとともに、英語を介して、様々な職業について調べ、仕事における英語の必要性を考えたり、英語を使ってコミュニケーションができることによって、様々な国の人の多様性や多文化を理解できることにつながることもあるなど、児童生徒が将来の自立のために、自分の生き方を考える上で、世界に「視野」を広げる。	チャレンジする力 <small>(課題対応能力)</small> 生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
高学年～ 中学生	【特別活動】 「トラブルってどう解決するの？」 中心取組み 将来の自立（自己実現）にあたって、生活上や仕事上などで様々な困難な場面やトラブルに見舞われる可能性がある。また、これまでに経験したトラブルや今、抱えているトラブルなどもあるかもしれない。それらをふりかえるとともに、これからの学校生活や日常生活・将来で起こり得るトラブルについて考える。そして、その対処の仕方を話し合い、実践する活動を通して、友達の対処の仕方や教師（グロスターチャー）の対処の仕方などを知り、身に付けることで、トラブルを未然に回避したり、事が大きくなる前に解決したりなどができる力をつける。	つながる力 <small>(人間関係形成・社会形成能力)</small>
高学年～ 中学生	【特別活動】 仕事 中心取組み 実際に働いている人へのインタビューや本、ICT機器等を活用して情報を収集し、交流する。その過程の中で、仕事の多様性ややりがい、ワークライフバランス（仕事との向き合い方や仕事をする意味など）やライフキャリア（充実した人生を送る上での仕事の意味、副業や転職・定年後の人生）などについて考え、職業について知るとともに将来への見通しをもつ。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>
中2～ 中3	【総合】 「家族ってなんだろう？」 中心取組み 多様化している家族の形などを情報収集し、交流する中で、様々な側面から家族について考える。その中で家族構成や役割などが多様化している一方で、家族（家庭）を持つ責任や子育ての大変さなどは、変わっていないことを知り、理解する。	生き抜く力 <small>(キャリアプランニング能力)</small>

モデルプラン 単元計画

小学校 1 年生

実施時期 11月～12月

実施教科 生活

単元名：「じぶんでできるよ」

単元目標	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。
------	---

つきたい力 (重点)	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	自己理解・自己管理能力
人とのつながり (重点)	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	役割を果たす・将来の姿をイメージする
本実践とキャリア教育との関わり	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見つける中で、自分の役割を積極的に果たす。	

単元計画例 ※配当時間 12 時間

時	目標	学習活動	評価規準
1～3	自分の生活と比較しながら、家の人の生活を見たり聞いたりし、自分の生活リズムを整えるとともに、自分の生活が家の人に支えられていることに気づき、健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。	1～2 家庭で自分が毎日していることを調べ、調べたことを基に、家庭での自分の1日の生活を振り返る。 3. ワークシートを基に、気付いたことについて話し合う。	知・技 家庭において、自分が家の人に支えられていることに気付いている。 知・技 家庭において、自分の生活のリズムを整えている。 思・判・表 自分の生活と比較しながら、家の人の生活を見たり聞いたりしている。
4～9	自分が家庭で役割を果たしている姿を思い描きながら、家で取り組むことを決め、家の人にはそれぞれに果たしている仕事や役割があることに気づき、自分の役割を果たそうとすることができるようにする。	1. 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。 家庭 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。 2. 調べてきたことを伝え合う。 3. 家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立てる。 家庭 自分でできることに取り組む。 4～5 自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできることを考え、記録カードにかく。 家庭 自分が考えたことに取り組む。 6. 家庭で取り組んだことを振り返り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、伝え合う。	知・技 家の人には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付いている。 思・判・表 自分が家庭で役割を果たしている姿を思い描き、家で取り組むことを決めている。 態度 家の人の役に立ちたいという思いをもち、試行錯誤しながら、家庭での自分の役割を果たそうとしている。
10～12	活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを見付け、自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気づき、これからも、家庭での自分の役割を果たしていこうとすることができるようにする。	1. さらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。 家庭 家庭や学校で、自分が続けたいことや挑戦したいことに取り組む(1週間程度)。 2. 自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。 3. 期間において 自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。	知・技 自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気付いている。 思・判・表 活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを話している。 態度 自分が家庭の役に立っていることを実感し、これからも自分の役割を果たしていこうとしている。

展開例 (6 / 12 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ○評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○家の仕事について出し合う。(前時のふりかえり) めあて 家で自分ができる仕事を考えよう。	
展開	○前時で出した仕事は誰がしているのか話し合う。 (食事の用意) お母さん、お父さん、お姉ちゃん (お風呂掃除) お父さん、自分 ○自分たちでもできる仕事について考え、話し合う。 ・お皿の片付けならできそう。 ・お風呂掃除はできそう。 ○自分たちでもできると考えた仕事の中から、実際にやってみたい仕事を決める。 ・お皿の片付けをやりたい。 ・お風呂掃除をやってみよう。	★家庭にはいろんな仕事があり、今は、そのほとんどを家族が行ってくれていることに気づき、「やってみよう」「やらないと。」という気持ちを引き出す。 ◎ 思・判・表 自分が家庭で役割を果たしている姿を思い描き、家で取り組むことを決めている。 ★自分でもできることで、且つなるべく今までにやったことのない仕事にチャレンジしようとする姿勢を認め、価値づける。
まとめ	○本時の学習のふりかえり ・お風呂掃除はやったことないけれど、みんなやっているって言っていたので、自分もできそうやし、やってみよう。	「なぜ、その仕事をしようと思ったのか」についてふりかえる。

実践のポイント

家庭の仕事について考える時間を十分に設けたい。子どもたちは家庭には様々な仕事があることを知り、その仕事は自分たちにはできないのかということを考えさせたい。単元を進めるにあたっては、学校での授業だけでなく家庭とも連携し、実際に取組ませることを大切にしたい。

実施教科 生活

単元名：「がっこう だいすき（学校探検）」

単元目標	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。	
つきたい力（重点）	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	キャリアプランニング能力
人とのつながり（重点）	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	上級生の様子や学校施設などを見学することで、学校生活に見通しを持つ
本実践とキャリア教育との関わり	学校探検や通学路探検を通して、自分との関わりをみつけ、学校生活を支えている大人や上級生、通学路の安全を守っている地域の人たちなどのことが分かるとともに、学校生活のこれからは見通しを持つ。	

単元計画例（一部省略） ※配当時間 20 時間

時	目標	学習活動	評価規準
9～11 +国語 1	友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んで探検に行き、学校の施設の特徴に気付くことができるようにする。	1.みんなで行った場所を思い出し、班ごとに探検に行く。 2.見付けた物、こと、会った人について伝え合い、もう一度、班ごとに学校探検に行く。 3.前回の探検について話し合い、班ごとに別の場所へ学校探検に行く。 4.見付けた物やこと、会った人について伝え合い、不思議に思ったことやもっと知りたいことを話し合う。	知・技 学校の施設の特徴に気付いている。 思・判・表 友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んでいる。
12～15 +国語 1	学校のことを知りたいという思いをもち、自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりして、学校にいる人々の働きや役割に気付く、何度も学校生活を支える人々と関わろうとすることができるようにする。	1.教科書を見て、どんな人にどんなことを聞きたいか、みんなで話し合い、練習をして聞きに出かける。 2.分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。 3.もう一度、聞きに出かける計画を話し合い、知りたいことを聞きに出かける。 4.探検を振り返り、教頭先生はどんな仕事をしているのか話し合い、教室に招待する計画を立てる。 5.教頭先生を招待して、学校の安全について話を聞く。	知・技 学校にいる人々の働きや役割に気付いている。 思・判・表 自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりしている。 態度 学校のことを知りたいという思いをもち、何度も行ったり、人に聞いたりして調べようとしている。
16～18 +国語 1	学校探検で見付けたことを友達と伝え合い、自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付く、安心感をもって、学校で遊びや生活をしていこうとすることができるようにする。	1.学校探検で見付けた人・物・ことの中から一番伝えたいことを決める。 2.伝えたいことを絵や文で表したり実物や動画を用意したりして、伝える準備をする。 3.自分の決めた方法で発表し、発表した絵や言葉、写真等を学校の絵地図に付け足す。 4.友達の話を聞いて分かったことや気付いたことを話し合う。	知・技 自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付いている。 態度 自分の学校生活がさまざまな人や施設に支えられていることに安心感をもち、これからも遊びや生活をしていこうとしている。

展開例（14 / 20 時間） 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ○評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○前回のふりかえり ○めあての確認	
展開	めあて 学校にいる人にもう一回学校のことを聞こう。 ○前回の交流を踏まえ、もう一度、知りたいことを聞きに出かける。 (養護教諭に対して) ・保健室にはどんなものが置いてあるのですか。 (栄養教諭に対して) ・この前の給食で出たカレーは、どのように作っているのですか。 (学校司書に対して) ・2年生では、どんな本が人気ですか。 (6年生に対して) ・6年生ではどんな勉強をするのですか。難しいですか。	○ 思・判・表 自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりしている。 ★ 異学年や教職員などと交流することで、学校について知るとともに、いろいろな人が自分たちの学校生活に関わっていることを知ること、学校生活に見通しを持たせたい。
まとめ	○本時の学習のふりかえり ・学校にはいろいろな人がいることが分かった。 ・また、図書先生に会いに行き、図書室で本を読みたい。	★ 学校にはいろいろな人や物があり、自分自身ももっと関わってみたいという思いを引き出したい。

実践のポイント

- ・教科書をうまく使い、担任だけでなく、いろいろな人が自分たちの学校生活に関わっていることに気付かせたい。
- ・教職員だけでなく、上級生などとの「縦のつながり」も意識し、授業の実践をしたい。
- ・学校生活に見通しを持つことで、少し先の「将来の自分とのつながり」を感じさせたい。

単元目標	◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。[思・判・表 A(1)イ] ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。[知・技(1)ア] ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。[思・判・表 A(1)ア]	
つきたい力(重点)	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	人間関係形成・社会形成能力
人とのつながり(重点)	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	友達などに意見をうまく伝える
本実践とキャリア教育との関わり	相手に自分の伝えたいことが伝わるように順序を考えながら、行動したことや経験したことを話す学習を通して、普段の生活においても活用ができるよう相手に自分の意見をうまく伝える練習をする。	

単元計画例 ※配当時間 2 時間

時	目標	学習活動	評価規準
1	・言葉には、事物の内容を表す働き、経験したことを伝える働きがあることに気づく。 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。	1.P48 の話型を確認し、P49 の挿絵を見て、顔の表情と出来事から女の子の気持ちやそのわけを考える。 ・顔の表情から、どんな気持ちかを考え「わたしは□です。」に気持ちを表す言葉を入れる。 ・「どうしてかというと、□だからです。」に理由となる出来事を入れる。	知・技言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) 思・判・表 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ)
2	相手に伝わるように、順序を考えて、話をする。	2.P49 の挿絵や教師の用意した絵等をもとに、二人組で学んだ話型を使って伝え合う。 3.自分で経験したことを、学んだ話型を使って話す。 ・二人組で交流した後、グループや全体で発表する。	態度これまでの学習や経験をいかし、話す事柄の順序を進んで考えながら、気持ちとわけを話そうとしている。

展開例 (2 / 2 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ◎評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○前時のふりかえり ○本時のめあての確認	※校長先生があなたたちのことを知りたがっているということを伝える。
展開	めあて 「どうしてかというと」をつかって、自分の気持ちを話そう。 ○小学校生活をどのような気持ちで過ごしているか話す。 ・「どうしてかというと ～からです。」という話型を導くようにする。 ・わけを話すときのわかりやすい話し方を思い出す。 ○自分の気持ちとわけを友達に伝える。 ペアの相手に伝える。 「わたしは □ です。」 「どうしてかというと、 □ だからです。」 ○校長先生に来てもらって、伝える。 校長先生には、わけが分かりやすく伝わったことを児童に伝えてもらう。	★自分の意見や考えを相手に伝える。 ※なかなか意見が出ないときには、教師の1年生の頃の気持ちを話して自分の気持ちと重ねて考えやすくする。 ◎態度 自分の経験を振り返って話すことを決め、気持ちを話したあとにそのわけを伝えている。 ◎思・判・表 自分の気持ちや経験に合った言葉を使って伝えている。
まとめ	○本時の学習のふりかえり ・自分の気持ちを校長先生に伝えることができた。 ・緊張したけれど、みんなの前で自分の気持ちを上手に伝えることができた。	★普段話すことがない人とも積極的にコミュニケーションをとることができたかふりかえる。

実践のポイント

学習内容だけでなく、学習したことを学校生活や日常生活の中で活用する経験を積ませることも、大切にしたい。普段の場面で使えることで、コミュニケーションの幅を広げることができます。

モデルプラン 単元計画

小学校 2 年生

実施時期 9月～10月

実施教科 生活

単元名：「うごく うごく わたしの おもちゃ」

単元目標	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
------	--

つきたい力 (重点)	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	課題対応能力
人とのつながり (重点)	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	異学年交流 (2年生⇔1年生)
本実践とキャリア教育との関わり	作りたいおもちゃの設計図を描いて計画を立てる。また製作にあたっては身近なもので必要な材料を使う。製作後、友達と交流し、おもちゃがよりよく動くよう、改良をする。最後に改良したおもちゃで、上級生として1年生との交流を行う。	

単元計画例 (一部省略) ※配当時間 12 時間

時	目標	学習活動	評価規準
2～4	おもちゃの動きを予想して使う材料を選び、安全に配慮しながら必要な道具を使っておもちゃをつくる中でつくり方や材料を変えたとおもちゃの動きが変わることに気付くことができるようにする。	1～3 見本のおもちゃや教科書、図鑑などを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を用意して、自分のおもちゃをつくる。	知・技 材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付いている。 知・技 おもちゃをつくったり遊んだりする際、安全に配慮しながら必要な道具を適切に使っている。 思・判・表 実際に試したり比べたりしながら、おもちゃの動きを予想し、使う材料を選んでいる。
5～7	おもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、友達と比べながら動きを予測しておもちゃを改良するで、自分が加えた工夫とおもちゃの動きとの間に関係性があることに気付き、繰り返し改良しようとするができるようにする。	1. 自分がつくったおもちゃでほかのグループの友達と遊び、気付いたことを話し合う。 2～3 おもちゃを工夫して改良しながら遊び、よりよく動くように、グループで話し合ったり試して遊んだりする。	知・技 自分がおもちゃに加えた工夫と、おもちゃの動きとの間には、一定の関係性があることに気付いている。 思・判・表 友達のおもちゃと比べたり競争したりしながら、おもちゃの動きを予測し、おもちゃを改良している。 態度 自分のおもちゃをもっとよく動かしたいという思いとよく動かしたいという思いをもち、繰り返しおもちゃをもち、繰り返しおもちゃを改良しようとしている改良しようとしている。
8～12	さまざまな遊び方を試しながら、みんなでより楽しく遊べるように遊び方を改良する中で、ルールや遊び方を工夫するとみんなが楽しく遊べるようになることに気付き、これからも遊びを創り出そうとすることができるようにする。	1. 1年生と楽しく遊ぶ活動について話し合う。 2. 1年生と遊ぶ活動に向けて準備をする。 3～4 1年生と楽しく遊びながら、さらにおもちゃを改良したり遊び方を工夫したりする。 5. これまでの学習活動を振り返り、記録カードにかく。	知・技 自分がルールや遊び方を工夫したことで、みんなで楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 思・判・表 さまざまな遊び方を試しながら、みんなでより楽しく遊べるように、遊び方を改良している。 態度 身近な物を使ってみんなと遊びを創り出すことの面白さを実感し、これからは友達と一緒に遊びを創り出そうとしている。

展開例 (10/12 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ◎評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○前時のふりかえり めあて 1年生とさらに楽しく遊ぶための準備をしよう。	
展開	○前時の活動から再度1年生と交流を行う上で、改善した方がよい点などを話し合う。 ・自分たちの方が楽しんでしまった。 ・途中でおもちゃが壊れたので、壊れないようにしたい。 ・ルールが1年生には難しくすぎたかもしれない。 ○自分のおもちゃのさらなる改良や、1年生に合ったよりよい遊び方について考える。 ・遊ぶ前に遊び方や使い方をもっと丁寧に1年生に教えてあげたら、こわれないかもしれない ・ルールをもう少し簡単にして、1年生でも楽しめるようにしたい。	※1 年生に前回の交流時の感想やアンケートをもらっておくとよい。 ★友達や1年生からの意見も参考に、「1年生と遊ぶ」ということを再度意識し、話し合うことで、下の学年とのかかわり方などを学ぶ。 ◎思・判・表 さまざまな遊び方を試しながら、みんなでより楽しく遊べるように、遊び方を改良している。
まとめ	○本時の学習のふりかえり ・次は、もっと1年生が喜んでくれるといいなと思う。 ・前よりもっと1年生に楽しんでもらえるよう準備をしたので、次もがんばりたい。	※めあてを達成できたかどうかの確認 (ワークシートの記入)

実践のポイント

- ・1年生と遊ぶことが目的とならないよう、本時の評価規準を意識しながら授業を行う。
- ・11月に国語科で学習する予定である「馬のおもちゃの作り方」「おもちゃの作り方をせつめいしよう」という単元(14時間配当)との関連を考え、実施するとよい。

モデルプラン 単元計画

小学校 6 年生

実施時期

2 月

実施教科 国語

単元名：「今、わたしは ぼくは」

単元目標	◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。[思・判・表 A(1)ウ] ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話の構成や展開について理解することができる。[知・技(1)カ] ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。[思・判・表 A(1)イ]
------	--

つきたい力 (重点)	チャレンジする力 生き抜く力 つながる力	キャリアプランニング能力
人とのつながり (重点)	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の 自分とのつながり	自分のこれからについて考える
本実践とキャリア教育との関わり	将来の夢や目標等について、かなえるために今、頑張りたいこと (必要な力) を考え、資料を用いてスピーチをする。その中で自分自身の発表だけでなく友だちの夢や目標などを聞くことで、自分自身のこれからについて改めて考え、見通しを持つ。	

単元計画例 (一部省略) ※配当時間 6 時間

時	目標	学習活動	評価規準
2	スピーチの話題を決め内容を整理する。	2.スピーチの話題を決め、内容を整理する。 ・将来の夢とそう思うようになったきっかけや、そのときに感じたことを書き出し整理する。	知・技 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話の構成や展開について理解している。
3	構成を考えてスピーチメモを作る。	3.構成を考えて、スピーチメモを作る。 ・P213「矢島さんのスピーチメモ」を参考に、「初め・中・終わり」の大体の内容を考える。	思・判・表 「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。
4	発表に必要な資料を準備する。	4.発表に必要な資料を準備する。 ・聞き手に合わせて情報をしぼり、図表等を積極的に用いて提示資料を作る。 ・P264「デジタル機器を使って、プレゼンテーションしよう」を参考にしてもよい。	思・判・表 「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。
5	相手に伝わるよう工夫しながら、スピーチの練習をする。	5.スピーチの練習をする。 ・使う言葉や話し方、資料の見せ方など、工夫したいことをスピーチメモに書き込む。	態度 資料を活用して自分の考えを表現することに意欲的に取り組み、聞き手の知識や反応等に応じてより効果的なスピーチにしようとしている。
6	自分のスピーチを工夫して伝えるとともに友だちのスピーチを聞いて、感じたことや考えたことを伝え合う。	6.スピーチの会を開いて交流し、単元を振り返る。 ・友だちのスピーチを聞いて、感じたことや考えたことを伝え合う。	

展開例 (6 / 6 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ◎評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○前回のふりかえり ○本時のめあての確認	
展開	めあて 自分や友達のスピーチをふりかえろう。 ○自分や友だちのスピーチをふりかえる <スピーチをしてみて (工夫した点・感じたことなど) > <友だちのスピーチを聞いて (工夫していた点・感じたことなど) > ・体の動きを使って、ただ原稿を読んでいるよりも話が伝わってきた。 ・上手な人の発表は、本当にめざしているんだというような気持ちが伝わってきた。 ・友だちの夢や目標を知って、自分ももっとがんばらなれと思った。 ・仲の良い友だちの夢を初めて聞いて、友だちのことをもっと知ることができた。 ・中学受験の勉強など、自分が知らないところで友だちが努力しているんだと知った。 ・自分と同じ夢 (目標) に向かって努力しようとしている友だちがいることを知った。	◎ 態度 資料を活用して自分の考えを表現することに意欲的に取り組み、聞き手の知識や反応等に応じてより効果的なスピーチにしようとしている。 ★ 友だちのスピーチを聞いて感じたことや考えたことなどを丁寧に拾い、人それぞれ頑張りたいことがある、いろいろな努力の仕方があることに気付かせたい。
まとめ	○本時の学習のふりかえり ・友だちの発表を聞いて、自分も友だちと同じ夢 (目標) を持とうかなと思った。 ・自分の夢 (目標) を伝えることは緊張したけれど、いろいろな友だちの夢や目標を知ることができたので、すごくわくわくしながら授業を受けることができた。	

実践のポイント

- ・夢や目標をもつことがまだできていない児童もいることに留意し、単元を進めること。
- ・キャリア教育の視点を意識しすぎて、単元でつきたい力を疎かにしないよう、両輪で意識しながら単元を進めていくとよい。

モデルプラン 単元計画

小学校 6 年生

実施時期 年間

実施教科 特別活動

単元名 : 「 1・6 交流 」

単元目標	「1年生」ということを踏まえた上で、自分たち自身で企画・提案を改善しながら年間を通して交流を深める。その中で多様な他者と関わり、合意形成や意思決定等を図りながら主体的に集団活動に取り組むことができる。	
つきたい力 (重点)	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	人間関係形成・社会形成能力
人とのつながり (重点)	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	異学年交流 (6年生⇔1年生)
本実践とキャリア教育との関わり	1年生と交流する上で、1年生や1年生担任の要望や思い、1年生という発達段階等も考え、子どもたち自身が企画提案、改善しながら1年間を通して交流を行う。その中で、取組みをふりかえり、改善し、さらにより取り組みにつなげるという PDCA サイクルを活発なコミュニケーションを通して経験させ、コミュニケーションの大切さや、取組みをふりかえり、改善する大切さに気付く。	

単元計画例 ※配当時間 20 時間

次	目標	学習活動	評価規準
1	学校案内をしよう	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校案内をするために、適切なルートを確認する。 2 自分のペアの児童と交流をし、関係をつくる。 3 学校案内をし、学校のことについて1年生に知ってもらう。 	知・技 ・クラスや学年の児童だけでなく、教職員や地域など、多様な他者と協働し、集団の中で役割を果たすことの意義を理解している。 ・よりよい交流のための話し合いの手順や合意形成の図り方などの技能を身に付けている。
2	1年生とカルタで交流しよう	<ol style="list-style-type: none"> 1 1年生と新たな交流をするため、企画を考える。(学校に関するカルタづくり) 2 考えた内容について、どのように準備・実施するのかを考え、提案し、合意形成を図る。 3 1年生と交流する。 4 ふりかえり(成果と課題を整理し、次の企画に生かす。) 	思・判・表 多様な他者と協働して、1年生の思いや課題について話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。 態度 1年生との交流を充実したものにするため、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、自己の考えを持ち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。
3	1年生と外で運動をしよう	<ol style="list-style-type: none"> 1 1年生と新たな交流をするため、1年生に意見を聞いた上で企画を考える。(外で一緒に運動をする) 2 前回のふりかえりを生かし、提案を行い、合意形成を図る。 3 1年生と交流をする。 4 ふりかえり(成果と課題を整理し、次の企画に生かす。) 	
4	1年生に勉強を教えよう	<ol style="list-style-type: none"> 1 1年生と新たな交流を行うため、1年生の担任の要望を聞く。(算数の授業の補助をする) 2 前回のふりかえりを生かし、提案を行い、合意形成を図る。 3 1年生と交流をする。 4 ふりかえり(1年間の取り組みの成果と課題について整理する。) 	

展開例 (7 / 20 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ◎評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○前回のふりかえり(概要) ○本時のめあての確認 めあて 前回のふりかえりを生かし、次の取り組みにつなげよう。	
展開	○前回のふりかえり ・思ったよりも説明に時間がかかって、実際に遊ぶ時間が短くなってしまった。 ・自分たち(6年生)が毎時間ふりかえりしているように、1年生にも授業の最後に感想を聞く時間を作ったらどうか。 ・役割分担がうまくできなかった。でも1年生は楽しそうだった。 ・カルタって1年生のためになるのかな。もっと勉強的なことの方がよいのではないかな。 ・カルタは楽しかったけれど、本当に1年生がやりたかったことなのかな。 ○改善点を考える。 ・次は、もっと役割分担をしっかりとりたい。 ・時間配分をもう少し長くとりたい。 ・次は1年生がやりたいことをしてあげたい。アンケートを取ろうと思う。 ・自分たちばかりが考えるのではなく、1年生の先生にも何かやってほしい交流がないか聞きたい。	◎ 態度 1年生との交流を充実したものにするため、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、自己の考えを持ち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。 ★ 自分たちの取組みや声かけ・動きなどをそれぞれの役割などから報告するなど、活発にコミュニケーションを取らせたい。また、自分たち以外(1年生担任・担任・1年生など)の意見を聞く必要性やよさも感じさせたい。
まとめ	○本時の学習のふりかえり ・しっかりふりかえりができた。次はもっといい取り組みにしたい。 ・何があかんかったのか、ふりかえることが大切だと分かった。	

実践のポイント

うまくいったことと改善が必要な点をふりかえり、次回以降の取組につなげたい。その上でもしっかりと子どもたち自身で合意形成を図った上で、1つ1つの取組を進めていくことを大切にしたい。

実施教科 総合

単元名：「 大学体験 」

単元目標 <small>(本実践とキャリア教育との関わり)</small>	大学について調べるだけでなく、実際に自分の興味のある大学に訪問し、授業体験や施設見学を行う。また、その前後の学習の中で、自分の将来について改めて考える機会とし、今後のよりよい進路選択につなげる。	
つきたい力 (重点)	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	キャリアプランニング能力
人とのつながり (重点)	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	将来への見通しをもつ

単元計画例 (一部省略) ※配当時間 7 時間

時	目標	学習活動	評価規準
1	大学体験に向け、情報を収集し、訪問する大学を選択する。(情報の収集)	・近隣の大学についてインターネット等で調べ、訪問したい大学を決める。 ・同じ大学を訪問するメンバーでグループを作る。	態度 大学について調べる中で、なぜその大学に行きたいのか、自分の進路と結びつけて、調べようとしている。
2	自分たちで課題を設定する。(課題の設定)	・グループで、自分が選択した大学を訪問するにあたって、どのようなポイントで見たり、考えたりするのかを話し合い、レジュメを作成する。	思・判・表 大学に訪問するにあたって自分たちは、何を知りたいのか等を考え、レジュメを作成している。
3~4	大学に訪問し、自ら設定した課題について調べたり考えたりする。	・実際に大学に訪問し、見学や授業を体験する。 ・第 2 時で話し合ったレジュメをもとに、学んだことや感じたことなどを適宜メモする。	知・技 レジュメをもとに実際に体験をし、学んだことを整理し、まとめる中で、大学で学ぶことが将来の幅を広げることにつながることも気付いている。
5~7	訪問して得た情報を整理分析し、表現する。(整理・分析) (まとめ・表現)	・訪問して学んだことや感じた事、レジュメなどの情報を整理・分析する。 ・スライドを作成し、クラスメイトや学年等に向けて発表を行う。	

展開例 (2 / 7 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ○評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○前回のふりかえり ○様々な大学の様子や情報を知る。	※ICT 機器を用いて提示する。
展開	めあて 大学体験を通して、どんなことを学びたいのかを考えよう。	
	○大学体験を通して、何を知りたいのか、学びたいのかを改めて書き出す。 ・どんな教室でどんな風に授業を受けているのかを知りたい。 ・授業時間が 90 分になると HP に書いていた。どんな授業なのかを知りたい。 ・自分の夢を叶えられる学科について知りたい。 ・サークルやクラブもあると聞いた。自分はサッカーをしているので、大学のクラブの雰囲気が見たい。 ・食堂があると聞いた。どんなものか見てみたいし、食べてみたい。	※教師が生徒の答えを引き出し、先導してしまわないよう配慮する。 ★自分自身の進路や将来と結びつけて考える。
	○グループで知りたいことについて整理する。	※インターネットでも調べられることなのか、実際に行き、見学や体験、質問しないと分からないことなのかで分ける。
	○グループで大学の先生や大学生へ質問したいことについて考える。	◎ 思・判・表 大学に訪問するにあたって何を知りたいのか等を考え、レジュメを作成している。
	○グループでレジュメを作成する。	
	○作成したレジュメを他グループと見せ合う。	※情報や考えたことを取捨選択し、ポイントをまとめてレジュメをつくるよう声かけする。
まとめ	○本時の学習のふりかえり	※自分たちが作成したレジュメが効果的なものになっているのか考え、活動をふりかえる。

実践のポイント

生徒たちが自分自身で考え、作成したレジュメをもとに、主体的に大学体験ができるよう、事前に近隣の受け入れ先となる大学には、自由な施設見学、授業見学ができるようお願いしておくことよ。

実施教科 特別活動

単元名：「 夢や目標って必要？ 」

<p>単元目標 <small>(本実践とキャリア教育との関わり)</small></p>	<p>実際に働いている人や夢の為に努力をした人などから話を聞いたり、自分たちの生活に関わっているけれど普段見えていない仕事について調べたりする活動などを通して、自分の夢や目標を改めて考えるとともに、中学校に向けて、今から努力していきたいことを考える。それをスピーチメモをもとに ICT 機器を活用し、周りに伝えることができる。</p>
--	---

<p>つきたい力 (重点)</p>	<p>チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力</p>	<p>キャリアプランニング能力</p>
<p>人とのつながり (重点)</p>	<p>縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり</p>	<p>将来の夢や目標について考える・職業について知る</p>

単元計画 ※ 配当時間 7 時間

時	目標	学習活動	評価の観点
1 (国語)	<p>今の自分の夢や目標は何？ 今の自分の夢や目標を考えよう。</p>	<p>今の自分の夢や目標を考える。 <small>(必要に応じて、年度当初に記入したキャリア・パスポートを確認する。)</small></p>	<p>態度 4 月など、これまでに考えた自分自身の夢や目標をふりかえり、今の夢や目標を考えている。</p>
2～3	<p>「遊園地で働きたい！」はいけれど、どんな仕事があるの？ 自分たちに関わっているが、普段見えていない仕事を見つけよう。</p>	<p>・自分たちの経験から遊園地に関わる仕事を思い出す。 ・ゲストティーチャーから遊園地にも様々な仕事があることを知る。 例 清掃スタッフ、遊具の整備士、警備員、造園 ・自分たちの生活に関わっているが、普段見えていない仕事について考えたり、調べたりし、その内容を交流する。 例 イオンの清掃員、教材を販売する仕事、クロームブックを修理する仕事</p>	<p>知・技 様々な人の仕事自分たちの生活を支えていることに気付いている。 思・判・表 自分たちが普段見えていない仕事について情報を収集し、まとめている。</p>
4～5	<p>夢や目標って本当に必要？ 夢や目標を持つ大切さについて考えよう。</p>	<p>・「いろいろな仕事があるし、将来なんとかなりそう。そもそも夢や目標って本当に必要？」という意見から、夢の必要性について考え、意見を交流する。 ・ゲストティーチャーから夢が叶わなかった話や挫折した話、夢が叶った後の苦労などの話を聞き、感想を交流する。</p>	<p>知・技 夢や目標を叶えるには、健康面(心と身体両方)の維持やライバルの存在など、能力や学力以外にも必要なものがあることに気付いている。 態度 夢や目標を持つことに関して、関心を持ち、自分の意見を述べるなど、夢や目標を持つ大切さについて考えている。</p>
6～7 (国語)	<p>夢や目標のためにこれからできることは？ 夢や目標の実現のため、これから努力していきたいことを考え、発表しよう。</p>	<p>・自分自身の夢や目標を改めてふりかえり、その実現のために卒業までや中学校で努力していきたいことなどを考える。 ・事前に作成したスピーチメモをもとにスライドを使って発表する。</p>	<p>思・判・表 「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 態度 資料を活用して自分の考えを表現することに意欲的に取り組み、聞き手の知識や反応等に応じてより効果的なスピーチしようとしている。</p>

展開例 (3 / 9 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ○評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	<p>○前回のふりかえり ○本時のめあての確認</p>	
展開	<p>めあて 自分たちに関わっているが、ふだん見えていない仕事について交流しよう。</p> <p>○前回までに調べてきたことを交流する。 ・漢ドや計ドなどを学校に売ったりする仕事がある。作る仕事もある。 ・壊してしまったクロームブックを修理する仕事がある。運んだり、修理した後、使えるように設定したりしているのは、また別の仕事の人。</p>	<p>○知・技 様々な人の仕事自分たちの生活を支えていることに気付いている。 ★自分が知らない職業について知るとともに、その仕事自分たちを支えていることを知る。</p>
まとめ	<p>○本時の学習のふりかえり ・世の中には、いっぱい仕事があって、自分たちの生活を支えてくれていることが分かった。 ・いろいろな仕事があるし、将来なんとかなりそう。そもそも夢や目標って本当に必要？</p>	<p>※夢や目標の必要性に疑問を沸かせるよう、2～5 時を通して、子どもたちに声掛けや支援を行う。</p>

実践のポイント

国語科の『今、わたしは ぼくは』との関連をさせながら学習を進めるとよい。あわせて、キャリア・パスポートを確認するなど、普段の授業でも必要に応じて、ふりかえる機会を設けたい。

モデルプラン 単元計画 小学校 高学年～中学生 実施時期 適宜

実施教科 特別活動

単元名：「英語の勉強って本当に必要？」

単元目標 <small>(本実践とキャリア教育との関わり)</small>	課題解決を行う中で、新たな疑問をもつなど、「課題対応能力」を育てるとともに、英語を介して、様々な職業について調べ、仕事における英語の必要性を考えたり、英語を使ってコミュニケーションができることによって、様々な国の人の多様性や多文化を理解できることにつながることもあるなど、児童生徒が将来の自立のために、自分の生き方を考える上で、世界に「視野」を広げる。
---	--

つきたい力 (重点)	① チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	課題対応能力
人とのつながり (重点)	縦のつながり ② 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	友達との意見の交流

単元計画例 ※配当時間 8 時間

時	目標	学習活動	評価の観点
1～2	英語って必要？ 自分の考えを持ち、根拠をもとに話し合おう。	・英語の学習が必要だと思う理由、思わない理由を考え、それぞれが本やインターネット、聞き取りなどで得た根拠をもとに話し合う。 ・ゲストティーチャーから話を聞き、英語を学習する必要性について考える。	知・技 英語を学習する必要性を考える中で、英語そのものの必要性について理解している。 思・判・表 自分の考えの根拠となる資料をもとに、自分の意見を述べている。 態度 自分の考えの根拠となる資料を積極的に集めようとしている。
3	英語「を」使う仕事って何？ 英語を使えないと成り立たない仕事について調べよう。	英語を使えないと成り立たない仕事について調べ、まとめる。	知・技 様々な英語を使う職業を調べる中で、英語を使えるよさについて理解している。 思・判・表 英語と仕事を結び付け、どちらの仕事についても「英語を活用している」という共通点を見いだしている。
4	英語「も」使う仕事って何？ 英語を必要に応じて使う必要がある仕事について調べよう。	英語を必要に応じて使う必要がある仕事について調べ、まとめる。	態度 英語と仕事に関心を持ち、課題解決に取り組んでいる。
5～8	英語を使えるメリットって何？ 英語を使えるメリットについて考え、プレゼンしよう。	この単元の学習を通して、調べたことや考えたこと、友達の見聞などを参考にして、英語を使えるメリットについて考え、スライドを作成し、プレゼンする。	知・技 前時までに学習した内容や意見等を踏まえて、資料を作成している。 思・判・表 英語をどのように使うか（人・翻訳アプリなど）に違いはあるが、英語を使えるということ自体によさを見だし、スライドを用いて表現している。 態度 本単元で学習したことを参考に、友達と協働して、プレゼンに取り組もうとしている。

展開例 (3 / 8 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ◎評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○前回のふりかえり ○本時のめあての確認 めあて 英語を学習する必要性について考えよう。	
展開	○英語の必要性について話し合う。 ・世界の人とつながるために英語は必要。仕事とかでも使えそう。 ・英語が話せる、書けるも大事だけど、翻訳アプリなどを使って、うまく英語を使えばいいと思う。でもある程度の勉強は必要だと思う。 ・僕は、将来メジャーリーガーにはなれないかもしれないけれど、英語がもし、めっちゃできたら通訳として同じ舞台上に立てるかもしれないと思っている。もっと英語の勉強しようかな。 ○英語を話せる人・学んでいる人などゲストティーチャーに話を聞く。 (英語の教師・大学生・はばだけ経験者・地域の企業 等)	※英語を学習する必要性について自分の考えとその根拠を提示しながら議論を行う。 ◎ 知・技 英語を学習する必要性を考える中で、英語そのものの必要性について理解している。 ◎ 思・判・表 自分の考えの根拠となる資料をもとに、自分の意見を述べている。 ★ なぜ、英語が必要なのかを自分なりの考えで理解し、表現することができる。
まとめ	○本時の学習のふりかえり ・英語の勉強は必要。でも、翻訳アプリも必要に応じて、うまく活用すればいいと思った。 ・英語が必要なものと分かった。片言の英語でもいいんだと思った。勉強しようと思う。 ・英語を使う仕事ってたくさんあるのかな？	★ 新たな疑問 (課題の発見) を感じ、それを調べ解決しようとするという経験を重ねる。 ※ 本時のつづきやふりかえりをもとに次の探究課題を設定できるようにする。

実践のポイント

児童生徒自身から出た、新たな疑問 (課題の発見) を解決するという経験を積ませることが大切。そのために、つづきやふりかえりを丁寧に扱うとよい。この単元のように自分たちの疑問について計画を立てて、解決していくという力をつけることで、生涯にわたって学び続ける力につなげたい。

モデルプラン 単元計画 小学校高学年～中学校 実施時期 適宜

実施教科 特別活動

単元名：「トラブルってどう解決するの？」

単元目標 <small>(本実践とキャリア教育との関わり)</small>	将来の自立（自己実現）にあたって、生活上や仕事上などで様々な困難な場面やトラブルに見舞われる可能性がある。また、これまでに経験したトラブルや今、抱えているトラブルなどもあるかもしれない。それらをふりかえるとともに、これからの学校生活や日常生活・将来で起こり得るトラブルについて考える。そして、その対処の仕方を話し合い、実践する活動を通して、友達への対処の仕方や教師（ゲストティーチャー）への対処の仕方などを知り、身に付けることで、トラブルを未然に回避したり、事が大きくなる前に解決したりなどができる力をつける。
---	---

つきたい力（重点）	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	人間関係形成能力・自己管理能力
人とのつながり（重点）	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	多様な場面で人とうまく関わる力

単元計画例 ※配当時間 6 時間

時	目標	学習活動	評価の観点
1	これから生きていく上で、どんなトラブルに出くわす可能性があるの？ これから起こり得るトラブルについて考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験をふりかえる。 意見の交流 例示についての意見交流 	態度 今まで経験したトラブルなどをふりかえり、これから起こり得るトラブルについて考えている。
2	トラブルってどう解決するの？ トラブルの対処の仕方を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 前時で例示したトラブルへの対処の仕方を考える。 	思・判・表 自分が考えをもとに、工夫してトラブルに対処しようとしている。
3～4	実践してみよう。 トラブルの対処の仕方を実践しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 考えた対処の仕方をもとに実践し、意見を交流する。 対処の仕方を教師（ゲストティーチャー）から教わり、実践する。 	思・判・表 前時で、自分の考えていた対処の方法とレクチャーされた方法との共通点や相違点などを考えている。 知・技 トラブルの対処の仕方を理解し、実践演習の中で適切に対処している。
5～6	スライドを使い、学んだことをまとめよう。 学習したことをまとめよう。	<ul style="list-style-type: none"> スライドに学習したことをまとめ、適宜確認できるようにする。 	態度 本単元で学習したことを参考に、友達と協働して、学習したことをまとめようとしている。

展開例（ 2 / 6 時間） 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ◎評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○前回のふりかえり ○本時のめあての確認 	
展開	<p>めあて トラブルの対処の仕方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トラブル例に対して、自分ならどのように対処をするのかを考える。 <div style="border: 2px dashed orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><トラブル例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活でのトラブル ・生活上のトラブル ・仕事で起こり得るトラブル </div> <ul style="list-style-type: none"> ○考えた内容をグループで交流する。 ○考えた内容を全体で交流する。 	<p>※発達段階や実態に応じて、扱うトラブルの内容を変える。</p> <p>★自分ならどのように対処するのかを考えると同時に、それをグループやクラスで交流することで、様々な友達の考え方を知る機会にしたい。</p> <p>◎ 思・判・表 自分が考えをもとに、工夫してトラブルに対処しようとしている。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習のふりかえり ・トラブルの対処の仕方を考えた。もし、同じような場面になった時には、やってみたい。 ・自分が考えた対処の仕方がうまくいくのか、確かめてみたい。 	<p>※実践してみたいという思いにさせ、次時を迎えられるよう、声掛け等を行う。</p>

実践のポイント

- ・子どもたちが普段どのようにトラブルを解決しているかを丁寧に取り扱うことで、その後の実践演習の参加意欲につなげたい。
- ・技能的に身に付けることも大切であるが、トラブルの対処の仕方を「知る」ということも大切である。トラブルの事例に関しても、複数例取り上げたい。

モデルプラン 単元計画 小学校高学年～中学生 実施時期 適宜

実施教科 特別活動 単元名：「 仕事 」

単元目標 <small>(本実践とキャリア教育との関わり)</small>	実際に働いている人へのインタビューや本、ICT 機器等を活用して情報を収集し、交流する。その過程の中で、仕事の多様性ややりがい、ワークライフバランス（仕事との向き合い方や仕事をする意味など）やライフキャリア（充実した人生を送る上での仕事の意味、副業や転職・定年後の人生）などについて考え、職業について知るとともに将来への見通しをもつ。
---	---

つきたい力（重点）	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	キャリアプランニング能力
人とのつながり（重点）	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	将来の夢や目標について考える・職業について知る

単元計画例 ※配当時間 9 時間

時	目標	学習活動	評価の観点
1～2	仕事って何？ どうして必要？ 仕事の必要性について考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 「仕事」についてプレインストーミング。 仕事はなぜ必要なのかを考え、交流する。 	態度 仕事について様々な側面から考え、情報を整理している。
3～4	変わっていく仕事って、変わらない仕事ってあるのかな？ 仕事の多様性について調べ、交流しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 多様化している仕事について調べ、交流する。 (なくなった仕事、機械化しつつある仕事、変わらない仕事、残すべき仕事、新しく生まれている仕事など) 	知・技 仕事について調べ、交流する中で、仕事が多様化していることに気付いている。 思・判・表 交流をする中で、共通点や相違点などを考え、自分の意見を考えている。
5	将来、起業したいがどうすればいいの？ 会社の作り方を学ぼう。	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーに起業の仕方について学ぶ。 	知・技 企業に就職するだけでなく、仕事の仕方について学び、多様な働き方があることに気付いている。
6	YouTuber になりたい。 YouTuber の仕事内容について考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> YouTuber の仕事内容について考える。 仕事内容と学校で学習したこと（すること）を結び付ける。 	知・技 YouTuber の仕事の内容などについて考える中で、学校で学習することが役に立つことに気付いている。
7～9	仕事だけの人生って楽しいのかな？ <ul style="list-style-type: none"> 各国の労働時間について調べよう。 世界で活躍する人の生活から、わかったことや考えたことを交流しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 各国の労働時間について調べ、わかったことをまとめる。 有名スポーツ選手や大企業の CEO、総理大臣の一日の動静などをみて、わかったことや考えたことを交流する。 	思・判・表 各国の労働時間や有名スポーツ選手の生活や引退後の生活などを知る中で、ワークライフバランスやライフキャリアなどについて考え、自分の意見を考えている。

展開例 (4 / 9 時間) 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ◎評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○前回のふりかえり ○本時のめあての提示 	
展開	<p>めあて 仕事の多様性について、調べた情報をもとに交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べたことや調べてみて感じたこと、考えたことを交流する。 ・食にかかわる仕事は、機械化しても仕事として絶対になくならないと思う。 ・伝統工芸品とかを作る仕事は、残していかないといけないと思う。 ・スポーツ選手とかは、歴史が浅いし、内容とかは変化するかもしれないけれど、これからもなくなると思う。機械がサッカーしていても面白くないし。 ・コンビニやイオン・イズミヤのレジも機械になっている。 ・今はサブスクリプションが流行っている。レンタル DVD 店は本屋をやったりしている。これからどう変化するのかな。 ・昔よりも年配の人が働きやすくなっているらしい。定年も伸びてきている。 ・You Tube で動画を流すことを仕事として、お金を稼いでいる You Tuber が今流行っている。やってみたい。(新しく生まれている仕事) ・テレワークとかが普通になってきている。サラリーマンの働き方も変わりそう。 	※なくなる、なくなるの二択ではなく、どのようにその仕事に変化してきたのか、していくのかなどに焦点を当てるよう、前時から声掛け等を行う。 ◎ 知・技 仕事について調べ、交流する中で、仕事が多様化していることに気付いている。 ◎ 思・判・表 交流をする中で、共通点や相違点などを考え、自分の意見を考えている。 ★ 仕事は多様化しており、生産などは機械に任せ、マネジメントに力を入れている仕事もある。また、SNS での情報発信やその動画視聴等に伴う、広告収入など、新たな仕事も広く周知されつつある。このように仕事が多様化している中で、仕事を生み出したり、企画したりするなどの力がますます必要になってきていることに気付かせたい。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習のふりかえり ・「誰かのため」に仕事があると思う。 ・将来新しい仕事を生み出して、会社を作ってみたい。 	★ 仕事はお金だけのためではなく、誰かのためや自分自身のやりがいや生きがいのためなど、仕事の価値について触れるふりかえりを書かせたい。

実践のポイント

この学習を通して、「仕事」= 働くという視点だけでなく、必要性や多様性、やりがい、ワークキャリア、ライフキャリアなどを考えることによって、より広い視野で将来を考えられるようにしたい。

モデルプラン 単元計画 中学校 2 年生～3 年生 実施時期 適宜

実施教科 総合

単元名：「 家族って何だろう？ 」

単元目標 (本実践とキャリア教育との関わり)	多様化している家族の形などを情報収集し、交流する中で、様々な側面から家族について考える。その中で家族構成や役割などが多様化している一方で、家族（家庭）を持つ責任や子育ての大変さなどは、変わっていないことを知り、理解する。
---------------------------	--

つきたい力（重点）	チャレンジする力 ・ 生き抜く力 ・ つながる力	キャリアプランニング能力
人とのつながり（重点）	縦のつながり ・ 横のつながり ・ 将来の自分とのつながり	将来への見通し・多様性の理解

単元計画例 ※配当時間 8 時間

時	目標	学習活動	評価の観点
1	家族って何？ 家族とは何なのかを考えよう。	・今の考えを交流する。 ・家族の形態の変化について考える。	態度 今、自分が考える「家族」について考え、交流している。
2～5	家族って何？ 多様化している「家族」について調べ、交流しよう。	・多様化している家族の形について情報収集する。 ・調べた情報をもとに交流を行う。	知・技 多様化している家族の形について、情報収集し、根拠を集めている。 思・判・表 情報収集した情報の共通点や相違点などを考えている。
6	家族（家庭）を持つ場合の責任って？ ・家庭を持つ場合、どんな責任が伴うか考えよう。 ・子育てで必要なことや、してはいけないことを考えよう。	・どのような責任が伴うか考え、必要に応じて調べる。	思・判・表 家族の形が変化していることを踏まえた上で、家族（家庭）を持つ責任について、考えている。
7～8	学習をまとめよう この単元で学んだことをまとめよう。	・この単元の学習を通して、調べたことや考えたこと、友達の意見などを参考にして、スライドを使って、情報や考えをまとめる。	態度 本時で自分自身や友達などから収集した情報を整理分析した上で、資料にまとめることができる。

展開例（ 5 / 8 時間） 本時の目標

	○学習活動	※配慮事項 ◎評価規準 ★キャリア教育の視点
導入	○前回のふりかえり ○本時のめあての確認 めあて 多様化している「家族」の形について、調べた情報をもとに交流しよう。	
展開	○調べたことや調べてみて感じたこと、考えたことを交流する。 ・調べたけれど、「家族」の定義がそもそもあいまい。 ・民法などの法律でも「家族」とは何か定まってないらしい。 ・辞典には「家族とは」～～と載っていました。 ・昔は、「大家族」が多かったが、今は「核家族化」が進んでいる。また、共働きの家庭も多い。 ・コロナ禍で動物を飼い始めた人が増えたらいい。動物も家族？ ・動物の家族の形と人間の家族の形の違いについて私は調べました。例えば～～ ・私たちは、海外の家族の形について調べました。まず、○○（国名）では～ ・私は、江戸時代の家族の形について調べました。すると、～～ ・私は、アニメで考えました。例えば、ドラえもんでは～～、次にサザエさんでは～～ ・大家族は、育てるのが大変だけど、いろいろ国や市に補助してもらえます。例えば～～	※生徒は、様々な家庭環境の中育ってきていることに配慮する。 ※教師の主観的な価値観を述べないよう留意する。 ★多様化している家族の形について理解させ、それぞれの形があつていいということを理解させたい。 ◎ 思・判・表 情報収集した情報の共通点や相違点などを考えている。
まとめ	○本時の学習のふりかえり ・いろいろな形の「家族」があると分かったし、あつていいと思いました。 ・いろいろな角度から家族について知ることができ、よかったです。 ・理想の家族の形はあるのかもしれないけれど、この形が一番！みたいなのは、ないのかな。と思いました。どの時代もどの国も動物も家族を大切にしているので、人それぞれの家族の形があつていいと思います。 ・家族ってなんか大変そう。自分が大人になってそのような環境になったら責任重大だと思いました。	※生徒は、様々な家庭環境の中育ってきていることに配慮する。 ※教師の主観的な価値観を述べないよう留意する。

実践のポイント

- ・生徒たちは、様々な家庭環境の中で育ってきている。そのことに十分配慮する。（主観的な理想の家庭像や家族像などの価値観を押し付けない。）
- ・さまざまな生活スタイルの変化や価値観のもとに家族の形が多様化していることを理解できるよう、本時の展開では、様々な側面から家族の形について調べるよう前時までには何を調べさせるのか、仕掛けが必要。また本時でもどの意見から取り上げていくのか、子どもたちの意見を把握し、意図的に発表させる仕掛けが必要。

「門真市版キャリア教育」の効果・検証にむけて

キャリア教育の中には非認知能力など、数値として目に見えない能力も含まれています。それらも含め、児童生徒個人の成長を見取るため、キャリア・パスポートを有効活用しましょう。そして、個人内評価として子どもたちの成長を客観的に見取ることや下記の学校教育診断の数値などを使って、各学校や中学校区のキャリア教育の取り組みの検証を行い、改善につなげましょう。門真市としては、以下の数値を目標とします。

<現状と目標>

学校教育診断 児童・生徒 肯定的回答（よくあてはまる・あてはまる）

質問 4 授業では、色々な問題に対して、自分で考え、自分から取り組んでいる。

	H31 (R1) 年度	R2 年度	R3 年度 (指針作成初年度)	目標値 (R8 年度)
門真市 (小)	77.3%	76.1%	79.1%	85%
門真市 (中)	75.6%	79.7%	83.6%	85%

質問 14 大人になった時の職業（仕事）について考えたり、そのために今、どんな努力が必要なのか考えたりする機会がある。

	H31 (R1) 年度	R2 年度	R3 年度 (指針作成初年度)	目標値 (R8 年度)
門真市 (小)	73.5%	72.0%	79.6%	90%
門真市 (中)	83.2%	82.3%	87.1%	90%

質問 18 自分にはよいところがあると思う。

	H31 (R1) 年度	R2 年度	R3 年度 (指針作成初年度)	目標値 (R8 年度)
門真市 (小)	69.9%	67.0%	70.5%	75%
門真市 (中)	65.7%	69.1%	73.1%	75%

質問 19 失敗することを恥ずかしがったり、うまくいかないことを怖がったりせず、色々なことに挑戦してみたいと思う。

	H31 (R1) 年度	R2 年度	R3 年度 (指針作成初年度)	目標値 (R8 年度)
門真市 (小)		75.0%	74.3%	80%
門真市 (中)		77.1%	79.1%	85%

「門真市版キャリア教育」を推進するために

今後、この門真市版キャリア教育指針や国の基礎的・汎用的能力に基づき、より門真の実態に即した、「門真市版キャリア教育」を実践していくこととなりますが、すでに中学校区において、つきたい力を明確にした上で、キャリア教育の取り組みを行っている中学校区もあります。一方で、P.7に挙げたような課題を抱えている中学校区もあります。

このような実態も踏まえ、まずは、このキャリア教育指針をもとに、キャリア教育全体指導計画、キャリア・パスポートの見直し等を行い、門真市版キャリア教育を実践できる素地を整えます。また、すでに中学校区において、つきたい力を設定し、取り組みを進めている学校に関しては、門真市版キャリア教育の視点との整合性を確認した上で、引き続き取り組みを進めます。そして、各校や各中学校区で、このキャリア教育指針も参考にしつつ、本格的に「門真市版キャリア教育」が実践できるよう推進していきます。

キャリア教育を通して、小中間のみならず、小中間や地域・保護者等とより一層の連携を行い、社会に開かれた教育課程の実現、そして門真市がめざす子ども像「将来の自立をめざして、自分の生き方を見つける子ども」に育てていけるよう、この指針が今後、教職員のみなさんにとってその一助となることを期待しています。

資料編

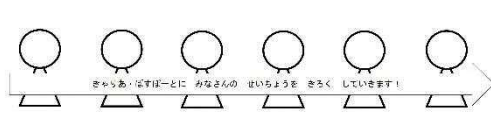
キャリア・パスポート

～ 門真市 参考様式（解説入り） ～

○年生のみなさんへ

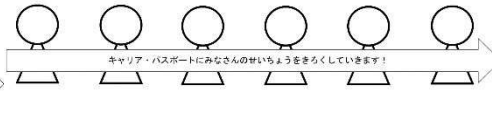
いちねんせいのみなさんへ

このパスポートとは、いちねんの、もくひょうや、ふりかえりを、かくことで、みなさんに、じぶんの、せいちょうを、かんじて、ほしいと、ねがって、つくったものです。せんせいたちも、このパスポートを、みながら、みなさんの、せいちょうを、みまもって、いきます。



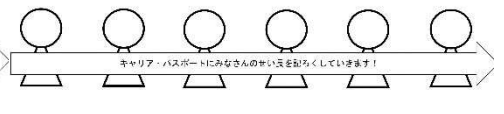
2年生のみなさんへ

このパスポートは、一年の目ひょうやふりかえりをかくことで、みなさんに、じぶんのせいちょうをかんじてほしいとねがってつくったものです。先生たちもこのパスポートを見ながら、みなさんのせいちょうを見まもっていきます。



3年生のみなさんへ

このパスポートは、一年の目ひょうやふりかえりを記入することで、みなさんに自分のせい長をかんじてほしいとねがって作せしたものです。先生たちもこのパスポートを見ながら、みなさんのせい長を見まもっていきます。



しょうがっこうせいいかつで、がんばってほしいこと
いちねんせいのみくひょう

小学校生かつでがんばってほしいこと
2年生の目ひょう

小学校生活でがんばってほしいこと
3年生の目ひょう

ねん くみ

なまえ

年 くみ

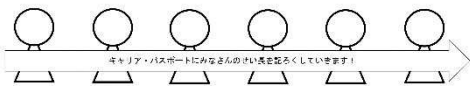
なまえ

年 くみ

なまえ

4年生のみなさんへ

このパスポートは、一年の目ひょうやふりかえりを記入することで、みなさんに自分のせい長を感じ取ってほしいとねがって作せしたものです。先生たちもこのパスポートを見ながら、みなさんのせい長を見守っていきます。



6年生のみなさんへ

このパスポートは、一年の目標やふりかえりを記入することで、みなさんに自分の成長を感じ取ってほしいと願って作成したものです。先生たちもこのパスポートを見ながら、みなさんの成長を見守っていきます。



小学校生活でがんばってほしいこと
4年生の目ひょう

年 組

名前

5年生のみなさんへ

このパスポートは、一年の目標やふりかえりを記入することで、みなさんに自分の成長を感じ取ってほしいと願って作成したものです。先生たちもこのパスポートを見ながら、みなさんの成長を見守っていきます。



小学校生活でがんばってほしいこと

6年生の目標

門真市版キャリア教育でつきたい力や校区・学校のめざす子ども像、学校の教育目標などに沿った学年の目標を教師から設定してください。

小学校生活でがんばってほしいこと
5年生の目標

年 組

名前

年 組

名前

中学1年生のみなさんへ

このパスポートは、中学校生活をふりかえったり見通したりしながら、学びの軌跡を記録し、積み重ねていくことで、みなさんに自分の成長を感じ取ってほしいと願って作成したものです。先生たちもこのパスポートを見ながら、みなさんの成長を見守っていきます。

中学2年生のみなさんへ

このパスポートは、中学校生活をふりかえったり見通したりしながら、学びの軌跡を記録し、積み重ねていくことで、みなさんに自分の成長を感じ取ってほしいと願って作成したものです。先生たちもこのパスポートを見ながら、みなさんの成長を見守っていきます。

◀ 中学1年生で伸ばしてほしい力（学年目標） ▶

◀ 中学2年生で伸ばしてほしい力（学年目標） ▶

年 組
名前

年 組
名前

中学3年生のみなさんへ

このパスポートは、中学校生活をふりかえったり見通したりしながら、学びの軌跡を記録し、積み重ねていくことで、みなさんに自分の成長を感じ取ってほしいと願って作成したものです。先生たちもこのパスポートを見ながら、みなさんの成長を見守っていきます。

◀ 中学3年生で伸ばしてほしい力（学年目標） ▶

門真市版キャリア教育でつきたい力や校区・学校のめざす子ども像、学校の教育目標などに沿った学年の目標を教師から設定してください。

年 組
名前

学年初め

1ねんせい
はじめての1がっきは どうでしたか

ねん ぐみ
なまえ

【記入日 ねん がつ にち】

◎ いまの わたしについて かんがえてみましょう。

(わたしのすがた)

わたしの すきなこと

わたしの ゆめ

1がっきを ふりかえりましょう

あてはまる まーくを ぬりましょう。	よく できた	できた	もうすこし
① ともだちと なかよくできましたか。	😊	😊	😊
② はじめてのことに ちゃれんじできましたか。	😊	😊	😊
③ わからないことは せんせいや ともだちに しつもんできましたか。	😊	😊	😊
④ すずんで ベんきょうやうんどうができましたか。	😊	😊	😊

2年生
新しい学年がはじまりました

年 ぐみ
なまえ

【記入日 年 月 日】

◎ いまのわたしについて、かんがえてみましょう。

(わたしのすがた)

わたしのすきなこと

わたしのよいところ・とくいなこと

わたしのゆめ

◎ 2年生でしようとおもっていること、チャレンジしたいことを

かいてみましょう。

(学校で)

(おうちで)

◎ みんな(学級)のためにがんばりたいこと

3年生
新しい学年がはじまりました

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 今のわたしについて、考えてみましょう。

(わたしのすがた)

わたしのすきなこと

わたしのよいところ・とくいなこと

わたしのゆめ

◎ 3年生でしようと思っていること、チャレンジしたいことを書いてみましょう。

(学校で)

(家で)

◎ 3年生で楽しみにしていること。

◎ みんな(学級)のためにがんばりたいこと。

4年生
新しい学年がはじまりました

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 今のわたしについて、考えてみましょう。

(わたしのすがた)

わたしのすきなこと

わたしのよいところ・とくいなこと

わたしのゆめ

◎ 4年生でしようと思っていること、チャレンジしたいことを書いてみましょう。

(学校で)

(家で)

◎ 4年生で楽しみにしていること。

◎ みんな(学級)のためにがんばりたいこと。

5年生
新しい学年がはじまりました

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 今のわたしについて考えてみましょう。

(わたしのすがた)

好きなこと、夢中になっていること

自分のよいところ・とくいなこと

夢・目標

◎ 5年生でチャレンジしたいことを書いてみましょう。

(学校で)

(家で)

◎ こんな1年間にしたい、そのために自分がすること

◎ 高学年としてがんばること(児童会活動、クラブ活動、学校行事など)

6年生

新しい学年がはじまりました

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 今のわたしについて考えてみましょう。

(わたしのすがた)

好きなこと、夢中になっていること

好きなことや夢中になっていることが、将来の希望や夢につながります。

自分のよいところ・とくいなこと

人と比べて自分になりに思うことを書かせたい。これまでに書いたパスポートを参考にしてもよいでしょう。

夢・目標

その夢や目標に向かって、今何をがんばるのか考えるきっかけにすることが狙いです。

◎ 6年生でチャレンジしたいことを書いてみましょう。

(学校で)

(家で)

1年間でどんな自分になりたいかをイメージさせ、そのための具体的な行動目標を意思決定させます。

◎ こんな1年間にしたい、そのために自分がすること

途中で目標が変わる児童もいるので、適宜、ふりかえるとともに、その都度、追加する時間を設けるのもよいでしょう。

◎ 高学年としてがんばること(児童会活動、クラブ活動、学校行事など)

6年生は、学校の中でどのような役割があるのか説明するのもよいでしょう。

中学1年生 学年初め

年 組
名前

記入日 年 月 日

◎ 今の自分を見つめて
今の自分（自分の好きなこと・もの、得意なこと、頑張っていることなど）

将来の夢・目標・なりたい自分	自己PR（自分のよいところ）
----------------	----------------

◎ 1年生でチャレンジしたいこと！！

(学校で) (家で) (先生から)

◎ 1年生での目標と、目標達成に向けて取り組みたいこと。

学習面の目標	そのために
生活面の目標	そのために
その他（部活動、習い事等）の目標	そのために

◎ 中学校卒業時には、こんな自分になりたい。

中学2年生 学年初め

年 組
名前

記入日 年 月 日

◎ 今の自分を見つめて
今の自分（自分の好きなこと・もの、得意なこと、頑張っていることなど）

将来の夢・目標・なりたい自分	自己PR（自分のよいところ）
----------------	----------------

◎ 2年生でチャレンジしたいこと！！

(学校で) (家で) (先生から)

◎ 2年生での目標と、目標達成に向けて取り組みたいこと。

学習面の目標	そのために
生活面の目標	そのために
その他（部活動、習い事等）の目標	そのために

◎ 中学校卒業後の進路について考えていること、また、そのために取り組むこと。

卒業後の進路	取り組むこと
--------	--------

中学3年生 学年初め

年 組
名前

記入日 年 月 日

中1は中学校最初のパスポート、中3は義務教育最後の1年ということを生徒と共有するとよいでしょう。

◎ 今の自分を見つめて
今の自分（自分の好きなこと・もの、得意なこと、頑張っていることなど）

将来の夢・目標・なりたい自分	自己PR（自分のよいところ）
----------------	----------------

これまで書いたパスポートを参考にさせるとともに、自分自身を改めて客観的に見つめ、自分のよさを肯定的に捉えて記入できるようにしましょう。なかなか記入できない生徒については、教師や友達などからの肯定的な評価や意見を参考にさせるなどの支援が有効です。

◎ 3年生でチャレンジしたいこと！！

(学校で) (家で) (先生から)

中3については、義務教育最後の学年であることを自覚させ、具体的な場面を想定させながら記入をさせるとよいでしょう。

具体的な項目に対して、肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでも構いません。

◎ 3年生での目標と、目標達成に向けての具体的な行動

目標	具体的な行動
----	--------

進路・将来の夢・大切にしたいこと・挑戦したいことなど、さまざまな角度からの記入を認め、それを達成するための「具体的な行動」や「取り組むこと」を丁寧に、かつ可能であれば、より詳細に複数書こう、声掛けをしましょう。

◎ この1年でつけたい力とその理由

つけたい力	理由
-------	----

その力をつけるために取り組むこと ↓

1 学期のふりかえり

1ねんせい
はじめての1がっきは どうでしたか

ねん くみ
なまえ

【かいだひ ねん がつ にち】

◎ いまの わたしについて かんがえてみましょう。

(わたしのすがた)

わたしの すきなこと

わたしの ゆめ

1がつきを ふりかえりましょう

あてはまる まーくを めりましょう。	よく できた	できた	すこし できなかった
① とても なかよくできましたか。	😊	🙂	😞
② はじめてのことに ちゃれんじできましたか。	😊	🙂	😞
③ わからないことは せんせい や とても だちに しつもんでしましたか。	😊	🙂	😞
④ すずんで べんきょうやうんどうができましたか。	😊	🙂	😞

1学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 1学期のことをふりかえて書きましょう。

(学校で)

(家で)

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できなかった	あまり できなかった
① 自分の気持ちを、友だちにわかりやすくつたえることができましたか。				
② クラスの友だちと協力して、ものごとに取り組むことができましたか。				
③ わからないことや知りたいことがあるとき、自分から進んでしつもんしたり、調べたりできましたか。				
④ 進んで勉強や運動ができましたか。				
⑤ 自分のよさを見つけられましたか。				

◎ 2学期にしようと思っていること、チャレンジしたいことを書いてみましょう。

(学校で)

(家で)

(先生から)

1学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 1学期のことをふりかえて書きましょう。

(学校で)

(家で)

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できなかった	あまり できなかった
① 自分の気持ちや考えを、相手にわかりやすく伝えようと気をつけることができましたか。				
② 他人の気持ちを考えて行動することができましたか。				
③ 委員会、係活動などで、自分から仕事を見つけ、協力して行動することができましたか。				
④ 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで情報を集めたり、質問したりできましたか。				
⑤ 苦手なことでも、自分から進んで取り組むことができましたか。				
⑥ 自分のよさを見つけられましたか。				

◎ 2学期にチャレンジしたいことを書いてみましょう。

(学校で)

(家で)

(先生から)

1学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【かいだひ 年 月 日】

◎ 1学期のことをおもいだしてかきましょう。

学校でがんばったこと (べんきょう・うんどう)

おうちでがんばったこと (お手つだい・ならいごと)

あてはまるマークをぬりましょう。	よく できた	できた	もうすこし
① とても なかよくできましたか。	😊	🙂	😞
② はじめてのことにチャレンジできましたか。	😊	🙂	😞
③ わからないことは、先生やとても だちに しつもん できましたか。	😊	🙂	😞
④ すずんでべんきょうやうんどうができましたか。	😊	🙂	😞

◎ 2学期にしようとおもっていること、チャレンジしたいことを

書いてみましょう。

(学校で)

(おうちで)

(せんせいから)

1学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 1学期のことをふりかえて書きましょう。

(学校で)

(家で)

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	すこし できなかった	あまり できなかった
① 自分の気持ちを、友だちにつたえることができましたか。			
② クラスの友だちと協力できましたか。			
③ わからないことや知りたいことがあるとき、自分から進んでしつもんしたり、しらべたりできましたか。			
④ すずんでべんきょうやうんどうができましたか。			
⑤ 自分のよさを見つけられましたか。			

◎ 2学期にしようと思っていること、チャレンジしたいことを書いてみましょう。

(学校で)

(家で)

(先生から)

1 学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 1学期のことをふりかえて書きましょう。

(学校で)

(家で)

これまでの授業や行事の記録、キャリア・パスポートをもとに記入します。漠然とふりかえらせるのではなく、自分のノートのふりかえりや感想文、4月に書いたキャリア・パスポートなどを参考に、記入させるようにしましょう。また、「できた・できていない」の二択ではなく、できるようになるために行動した自分に気づかせることが何より大切です。今できていなくても、頑張り続けている児童もいるかもしれません。肯定的に児童に声掛けをしましょう。

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できなかった	あまり できなかった
① 自分の気持ちや考えを、相手にわかりやすく伝えようと気をつけることができましたか。				
② 他人の気持ちを考えて行動することができましたか。				
③ 委員会、係活動などで、自分から仕事を見つけ、協力して行動することができましたか。				
④ 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで情報を集めたり、質問したりできましたか。				
⑤ 苦手なことでも、自分から進んで取り組むことができましたか。				
⑥ 自分のよさを見つけられましたか。				
⑦ 何かをするとき、計画を立てて進めることができましたか。				

どれだけ力がついたのか自己評価をします。左記の項目の内容に関しては、キャリア教育指針の系統表などを参考に作成するのもよいでしょう。また、この内容を4月の学年初めに、児童と共有しておくようにしましょう。

◎ 2学期にチャレンジしたいことを書いてみましょう。

(学校で)

(家で)

(先生から)

2学期も1学期と継続した目標でも構いません。具体的に実現可能な内容にするよう改めて、声掛けをするのもよいでしょう。

具体的な項目に対して、肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでも構いません。

1学期のふりかえり

年 組
名前

記入日 年 月 日

◎ 1学期のことをふりかえって書きましょう。

(学習面で)

(生活面で)

(その他で)

(先生から)

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、工夫しながら自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分の役割や仕事を見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				

1学期のふりかえり

年 組
名前

記入日 年 月 日

◎ 1学期のことをふりかえって書きましょう。

(学習面で)

(生活面で)

(その他で)

(先生から)

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分から仕事を見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				

1学期のふりかえり

年 組
名前

記入日 年 月 日

◎ 1学期のことをふりかえって書きましょう。

(学習面で)

(生活面で)

(その他で)

(先生から)

具体的な項目に対して、肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでも構いません。

これまでの授業や行事の記録、キャリア・パスポートをもとに記入します。漠然とふりかえらせるのではなく、自分のノートのふりかえりや感想文、4月に書いたキャリア・パスポートなどを参考に、記入させるようにしましょう。また、「できた・できていない」の二択ではなく、できるようになるために行動した自分に気づかせることが何より大切です。今できていなくても、頑張り続けている生徒もいるかもしれません。肯定的に生徒に声掛けをしましょう。

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、工夫しながら自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分の役割や仕事を見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				
⑨ 学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。				

どれだけ力がついたのか自己評価をします。左記の項目の内容に関しては、キャリア教育指針の系統表などを参考に作成するのもよいでしょう。また、この内容を4月の学年初めに、生徒と共有しておくようにしましょう。身に付けようと思ったことが身についたかどうか自己評価することを通して自分自身の成長を実感することができるよう促します。

2学期のふりかえり

1学期のふりかえりの解説を参考にしてください。

2がっきを ふりかえりましょう

ねん くみ
なまえ

【かいたひ ねん がつ にち】

◎ 2がっきのことを おもいだして かきましょう。

がっこうで がんばったこと（べんきょう・うんどう）

おうちで がんばったこと（おてつだい・ならいごと）

あてはまる まーくを めりましょう。	よく できた	できた	もうすこし
① ともだちと なかよくできましたか。	😊	😄	😞
② はじめてのことに ちゃれんじできましたか。	😊	😄	😞
③ わからないことは せんせいや ともだちに しみもんできましたか。	😊	😄	😞
④ すずんで べんきょうやうんどうができましたか。	😊	😄	😞

◎ これから わたしが しょうと おもっていること ちゃれんじしたいことを かいてみましょう。

（がっこうで） （おうちで） （せんせいから）

2学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 2学期のことをふりかえって書きましょう。

（学校で）

（家で）

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① 自分の気持ちや考え、相手にわかりやすく伝えられたか。				
② クラスの友だちと協力して、ものごとに取り組むことができたか。				
③ 分からないことや知りたいことがあるとき、自分から進んでしつもんしたり、調べたりできましたか。				
④ 進んで勉強や運動ができましたか。				
⑤ 自分のよさを見つけられましたか。				

◎ 3学期にしようと思っていること、チャレンジしたいことを書いてみましょう。

（学校で） （家で） （先生から）

2学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 2学期のことをふりかえって書きましょう。

（学校で）

（家で）

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① 自分の気持ちや考え、相手にわかりやすく伝えようと気をつけることができたか。				
② 他人の気持ちを考え、行動することができましたか。				
③ 委員会、係活動などで、自分から仕事を見つけ、協力して行動することができましたか。				
④ 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで情報を集めたり、質問したりできましたか。				
⑤ 苦手なことでも、自分から進んで取り組むことができたか。				
⑥ 自分のよさを見つけられましたか。				

◎ 3学期にチャレンジしたいことを書いてみましょう。

（学校で） （家で） （先生から）

2学期をふりかえりましょう

年 組
なまえ

【かいた日 年 月 日】

◎ 2学期のことをおもいだしてかきましょう。

学校でがんばったこと（べんきょう・うんどう）

おうちでがんばったこと（お手つだい・ならいごと）

あてはまるマークをめりましょう。	よく できた	できた	もうすこし
① ともだちとなかよくできましたか。	😊	😄	😞
② はじめてのことにチャレンジできましたか。	😊	😄	😞
③ わからないことは、先生やともだちにしみもんできましたか。	😊	😄	😞
④ すずんでべんきょうやうんどうができましたか。	😊	😄	😞

◎ 3学期にしようとおもっていること、チャレンジしたいことをかいてみましょう。

（学校で） （おうちで） （せんせいから）

2学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 2学期のことをふりかえって書きましょう。

（学校で）

（家で）

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① 自分の気持ちや考え、友だちにつたえることができたか。				
② クラスの友だちと協力できましたか。				
③ わからないことや知りたいことがあるとき、自分から進んでしつもんしたり、しらべたりできましたか。				
④ すずんでべんきょうやうんどうができましたか。				
⑤ 自分のよさを見つけられましたか。				

◎ 3学期にしようと思っていること、チャレンジしたいことを書いてみましょう。

（学校で） （家で） （先生から）

2学期をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 2学期のことをふりかえって書きましょう。

（学校で）

（家で）

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① 自分の気持ちや考えを、相手にわかりやすく伝えようと気をつけることができたか。				
② 他人の気持ちを考えて行動することができましたか。				
③ 委員会、係活動などで、自分から仕事を見つけ、協力して行動することができましたか。				
④ 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで情報を集めたり、質問したりできましたか。				
⑤ 苦手なことでも、自分から進んで取り組むことができたか。				
⑥ 自分のよさを見つけられましたか。				
⑦ 何かをするとき、計画を立てて進めることができたか。				

◎ 3学期にチャレンジしたいことを書いてみましょう。

（学校で） （家で） （先生から）

2学期のふりかえり

年 組
名前

記入日 年 月 日

◎ 2学期のことをふりかえって書きましょう。

(学習面で)

(生活面で)

(その他で)

(先生から)

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分から仕事を見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				

2学期のふりかえり

年 組
名前

記入日 年 月 日

◎ 2学期のことをふりかえって書きましょう。

(学習面で)

(生活面で)

(その他で)

(先生から)

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、工夫しながら自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分の役割や仕事を見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				

2学期のふりかえり

年 組
名前

記入日 年 月 日

◎ 2学期のことをふりかえって書きましょう。

(学習面で)

(生活面で)

(その他で)

(先生から)

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、工夫しながら自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分の役割や仕事を見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				
⑨ 学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。				

1年間のふりかえり (3学期)

1ねんせい 1ねんかんを
ふりかえりましょう

ねん くみ
なまえ

【かいたひ ねん がつ にも】

◎ 1ねんかんを おもいでして かきましょう。

がっこうで がんばったこと (べんきょう・うんどう)

おうちで がんばったこと (おてつだい・ならいごと)

あてはまる まくを めりましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① ともだちと なかよくできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② はじめのことに ちやれんじできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ わからないことは せんせいや ともだちに したもできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ すずんで べんきょうやうんどうができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◎ 2ねんせい で わたしが ちやれんじしたいことを かいてみましょう。

(がっこうで) (おうちで) (せんせいから)

2年生 1年かんを
ふりかえりましょう

年 くみ
なまえ

【かいたひ ねん がつ にも】

◎ 1年かんをおもいでしてかきましょう。

学校でがんばったこと (べんきょう・うんどう)

おうちでがんばったこと (お手つだい・ならいごと)

あてはまるマークをめりましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① ともだちとなかよくできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② はじめのことにチャレンジできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ わからないことは、先生やともだちにすもんできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ すずんでべんきょうやうんどうができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◎ 3年生でチャレンジしたいことをかいてみましょう。

(学校で) (おうちで) (せんせいから)

3年生
1年間をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 1年間をふりかえって書きましょう。

(学校で)

(家で)

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① 自分の気持ちを、友だちにつたえることができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② クラスの友だちと協力できましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ わからないことや知りたいことがあるとき、自分から進んでしつもんしたり、しらべたりできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ すずんでべんきょうやうんどうができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 自分のよさを見つけれましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◎ 4年生でチャレンジしたいことをかいてみましょう。

(学校で) (家で) (せんせいから)

4年生
1年間をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 1年間をふりかえって書きましょう。

(学校で)

(家で)

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① 自分の気持ちを、友だちにわかりやすくつたえることができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② クラスの友だちと協力して、ものごとに取り組むことができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 分からないことや知りたいことがあるとき、自分から進んでしつもんしたり、しらべたりできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 進んで勉強や運動ができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 自分のよさを見つけれましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◎ 4年生でチャレンジしたいことと、この1年間で、自分でせい長したと思うことを書いてみましょう。

(チャレンジしたいこと) (せい長したと思うこと)

(知恵から)

5年生
1年間をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 1年間をふりかえって書きましょう。

(学校で)

(家で)

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① 自分の気持ちや考えを、相手にわかりやすく伝えようと思つてつけることができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 他人の気持ちを考えて行動することができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 委員会、係活動などで、自分から仕事を見つめ、協力して行動することができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで情報を集めたり、質問したりできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 苦手なことで、自分から進んで取り組むことができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 自分のよさを見つけれましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◎ 5年生でチャレンジしたいことと、この1年間で、自分が成長したと思うことを書いてみましょう。

(チャレンジしたいこと) (成長したと思うこと)

(知恵から)

6年生
1年間をふりかえりましょう

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 1年間をふりかえって書きましょう。

(学校で) (家で)

これまでの授業や行事の記録、キャリア・パスポートをもとに記入します。漠然とふりかえらせるのではなく、自分のノートのふりかえりや感想文、これまでのキャリア・パスポートなどを参考に、記入させるようにしましょう。また、「できた・できていない」の二択ではなく、できるようになるために行動した自分に気づかせることが何より大切です。今できていなくても、頑張り続けている児童もいるかもしれません。肯定的に児童に声掛けをしましょう。

あてはまるところに○をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
① 自分の気持ちや考えを、相手にわかりやすく伝えようと思つてつけることができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 他人の気持ちを考えて行動することができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 委員会、係活動などで、自分から仕事を見つめ、協力して行動することができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで情報を集めたり、質問したりできましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 苦手なことで、自分から進んで取り組むことができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 自分のよさを見つけれられましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 何かをするとき、計画を立てて進めることができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

どれだけ力がついたのか自己評価をします。
身につけようと思つたことが身についたかどうか自己評価することを通して自分自身の成長を実感することができるように促します。これまでの学期のふりかえりも参考にしよう声掛けをしましょう。

◎ この1年間で、自分が成長したと思うことを書いてみましょう。

年度初めに書いた項目を見て、振り返りをします。記入したことを学級や学年で交流することで、集団としての成長を確認することもできます。

◎ こんな中学生になりたい。(中学校に行つてやりたいこと、楽しみなことなど)

子どもたちが持つ、中学生へのあこがれや印象を尊重しましょう。支援が必要な児童については、具体的なイメージがつくよう声掛けをしましょう。

(先生から)
具体的な項目に対して、肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでも構いません。

中学1年生
1年間のふりかえり

年 組
名前
記入日 年 月 日

◎ 1年間のことをふりかえって書きましょう。

(先生から)

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、工夫しながら自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分から仕事をを見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				

◎ 自分で成長したと思うことを書いてみましょう。

◎ 2年生に向けて（頑張りたいことやチャレンジしたいことなど）

中学2年生
1年間のふりかえり

年 組
名前
記入日 年 月 日

◎ 1年間のことをふりかえって書きましょう。

(先生から)

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、工夫しながら自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分の役割や仕事をを見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				

◎ 自分で成長したと思うことを書いてみましょう。

◎ 3年生に向けて（頑張りたいことやチャレンジしたいことなど）

中学3年生

1年間のふりかえり

年 組
名前
記入日 年 月 日

◎ 1年間のことをふりかえって書きましょう。

自分の気持ちや行動に一番近いところに○を付けましょう。 ※ A「そう思う」 B「少しそう思う」 C「あまりそう思わない」 D「そう思わない」	A	B	C	D
① 他人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。				
② 他人が理解しやすいよう、工夫しながら自分の気持ちや考えを伝えようとしたか。				
③ 自分の役割や仕事をを見つけ、周りの人と協力して行動しようとしたか。				
④ 疑問がある時などは、自分から進んで情報を集めたり、質問したりしようとしたか。				
⑤ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしたか。				
⑥ 自分の興味や関心、個性などについて、把握しようとしたか。				
⑦ 何かをするとき、見通しを持って、計画を立てて進めようとしたか。				
⑧ 自分の将来について、目標を立て、実現のための方法を考えましたか。				
⑨ 学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。				

◎ 自分で成長したと思うことを書いてみましょう。

◎ 小・中学校9年間のキャリア・パスポートを見て、自分の成長をふりかえり書きましょう

(先生から)

これまでの授業や行事の記録、キャリア・パスポートをもとに記入します。漠然とふりかえらせるのではなく、自分のノートのふりかえりや感想文、これまでのキャリア・パスポートなどを参考に、記入させるようにしましょう。また、「できた・できていない」の二択ではなく、できるようになるために行動した自分に気づかせることが何より大切です。今できていなくても、頑張り続けている生徒もいるかもしれません。肯定的に生徒に声掛けをしましょう。

どれだけ力がついたのか自己評価をします。身につけようと思ったことが身についたかどうか自己評価することを通して自分自身の成長を実感することができるように促します。これまでの学期のふりかえりも参考にしよう声掛けをしましょう。

年度初めに書いた項目を見て、振り返りをします。記入したことを学級や学年で交流することで、集団としての成長を確認することもできます。

中学校だけでなく、小・中9年間の自分の成長をふりかえることがポイントです。丁寧に声掛けをしましょう。

具体的な項目に対して、肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでも構いません。

中心取り組み

小学校・・・「がんばりカード」、中学校・・・「〇〇の取組について」

「〇〇〇〇」がんばりカード

ねん くみ
なまえ

【かいひ ねん がつ にち】

○ がんばったことは なんですか。

.....

.....

○ きづいたこと はっけんしたことは なんですか。

.....

.....

(みんなのち)

「〇〇〇〇」がんばりカード

年 くみ
なまえ

【かい日 年 月 日】

◎ 〇〇〇〇のめあて

.....

◎ 〇〇〇〇をふりかえろう

○ がんばったことは なんですか。

.....

.....

○ きづいたこと はっけんしたことは なんですか。

.....

.....

(みんなのち)

「〇〇〇〇」がんばりカード

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 〇〇〇〇のめあて

.....

↓

◎ がんばること

.....

◎ 〇〇〇〇をふりかえろう

○ がんばったことはなんですか。

.....

.....

○ 気づいたことは見つけたことはなんですか。

.....

.....

(みんなのち)

「〇〇〇〇」がんばりカード

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 〇〇〇〇のめあて

.....

↓

◎ がんばること

.....

◎ 〇〇〇〇をふりかえろう

○ がんばったことはなんですか。

.....

.....

○ 気づいたこと発見したことはなんですか。

.....

.....

(みんなのち)

「〇〇〇〇」がんばりカード

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 〇〇〇〇のめあて

.....

↓

◎ 自分の目標を決めよう

.....

↓

◎ 目標達成のために意気すること

.....

◎ 〇〇〇〇をふりかえろう

○ 目標の達成のためにがんばったことは何ですか。

.....

.....

○ どんなことが心に残りましたか。

.....

.....

○ これからの生活にどう生かしていこうと思いますか。

.....

.....

(みんなのち)

「〇〇〇〇」がんばりカード

年 組
名前

【記入日 年 月 日】

◎ 〇〇〇〇のめあて

.....

↓

◎ 自分の目標を決めよう

.....

↓

◎ 目標達成のために意きすること

.....

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、その行事のねらいを児童にわかりやすい言葉で示しておきます。事前に学年やクラスで児童に考えさせてもよいでしょう。(自分の役割を責任をもって果たす。友達と協力し、進んで活動する。など)

具体的な項目に対して、肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでも構いません。

できたか、できなかったか、だけにならないようにしましょう。自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようになります。

「友達のがんばっていたところ」を書くなど、相互評価するよう声掛けしてもよいでしょう。

行事のめあてやがんばったことなどをふりかえった上で書くよう、声掛けをしましょう。

「〇〇〇〇」の取組について

年 組 名前

(事前)	記入日	年	月	日
〇〇〇〇のめあて				
自分の目標				
目標を達成するために準備すること				

(事後)	記入日	年	月	日
目標を達成するために、がんばったこと				
心に残っていること				
自分が成長したと思うこと				
今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと				

先生から

「〇〇〇〇」の取組について

年 組 名前

(事前)	記入日	年	月	日
〇〇〇〇のめあて				
自分の目標				
目標を達成するために準備すること				

(事後)	記入日	年	月	日
目標を達成するために、がんばったこと				
心に残っていること				
自分が成長したと思うこと				
今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと				

先生から

「〇〇〇〇」の取組について

年 組 名前

(事前)	記入日	年	月	日
〇〇〇〇のめあて				
自分の目標				
目標を達成するために準備すること				

(事後)	記入日	年	月	日
目標を達成するために、がんばったこと				
心に残っていること				
自分が成長したと思うこと				
今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと				

先生から

学校行事の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。教師が生徒に対して、この学校行事においてどのような経験や成長をすることを願っているのか、どのような意義のある学習なのか、丁寧に伝えた上で、記入させましょう。

<ポイント>
学校行事に関連する他のワークシートとの活用場面の整理が必要となります。

- ・思いきって、従来のワークシートを本シートに集約する。
- ・詳細な場面ごとのワークシートの重要ポイントのみを抜粋したシートとして、本シートを次年度にも引き継ぐべき、まとめの1枚とする。

など、このキャリア・パスポートの活用の仕方を検討しましょう。

具体的な項目に対して、肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでも構いません。

キャリア・パスポート Q&A

問1 「キャリア・パスポート」の引き継ぎはどのように行えばよいのでしょうか。

(答)

門真市では、以下の方法で引き継ぎを行っています。

学 年 間……………原則、教師間で引き継ぎ

小学校から中学校……原則、教師間で引き継ぎ

中学校から高等学校…原則、生徒を通じて引き継ぎ

転 出……………指導要録等とともに、原則、学校間での引き継ぎ

問2 「キャリア・パスポート」を紛失した児童生徒がいる場合、どのように対応すればよいですか。

(答)

記入済みのものに関しては、可能な範囲で情報を集め、再度作成することが望ましいと考えますが、それが難しい場合は、新たに当該学年のキャリア・パスポートを紛失した児童生徒に配布し、その時点からの活動を記録し蓄積をしてください。

問3 「キャリア・パスポート」用のファイルがほしい場合はどうすればよいのでしょうか。

(答)

転入児童生徒…ファイルがない場合等に関しては、新たに配布します。(市教育委員会まで連絡ください。)

破損・紛失 ……原則、自費負担等での対応

問4 児童生徒が転出入する場合、転入先の学校は、自校の様式に沿って作り直す必要があるのでしょうか。

(答)

「キャリア・パスポート」を含めた各学校における文書等の取扱いは、各学校やその設置者の定めるところによりますので一概には申し上げられませんが、一般的には、これまでに作成した「キャリア・パスポート」を転学先の学校に持っていき、そのまま活用していただければよく、転学先の学校の様式で作り直す必要はないと考えます。

(なお指導上の理由等により、転学先の学校の様式で作り直すことを否定するものではありません)

「キャリア・パスポート」に関するQ & Aについて (令和3年2月改訂) 令和3年2月 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 より引用

問5 「キャリア・パスポート」を電子化することは可能ですか。

(答)

「キャリア・パスポート」の取り扱い(紙媒体なのか・電子媒体なのか等)については、設置者もしくは学校長の判断となりますので、中学校区などで統一して電子化すること自体は可能です。しかし、キャリア・パスポートを電子化していない小学校・中学校・高等学校に児童生徒が転入・進学する場合等については、紙媒体での引き継ぎが必要な場合があります。なお、どの方法・形態であっても確実な引き継ぎを行うとともに、各自治体及び学校設置者の個人情報保護規則や情報セキュリティポリシー等を踏まえ、個人情報には取扱いに十分留意して行ってください。

問 6 キャリア・パスポートは年間で何枚書かせたらよいのですか。

(答)

門真市版のキャリア・パスポートにつきましては、令和 4 年度現在、

小学校 1 年生 … 5 枚

小学校 2 年生～4 年生 … 6 枚

小学校 5・6 年生 … 7 枚

中学生が … 6 枚 となっています。

主な内容構成については、①年度初め ② 1 学期ふりかえり ③ 2 学期ふりかえり ④ 3 学期ふりかえり ⑤ 年間ふりかえり
⑥ 中心取組みのふりかえり です。

各中学校区の実態に合わせて作成した、各中学校区独自のキャリア・パスポートを使用している学校もあるため、一概に〇枚と述べることはできませんが、上記の各学年に該当する枚数を書かせ、子どもに自分自身の成長を感じさせるとともに、教師は子どもの変容を見取ることが望ましいと考えます。また、キャリア・パスポートは高等学校卒業まで使用するものです。進級や進学した際、児童生徒を引き継ぐ教員にとっても、どのような学びやキャリア形成をしてきたのかを知る貴重な資料です。2 枚や 3 枚の形だけの実施で次の学年に引き継ぐことはないようにしましょう。

問 7 特別支援学校及び特別支援学級では、「キャリア・パスポート」の作成に際して、どのような点に配慮すればよいでしょうか。

(答)

1. 特別支援学校及び特別支援学級においても、小・中・高等学校と同様、学習指導要領に従い、「キャリア・パスポート」の活用に取り組んでいただく必要がありますが、例えば、児童生徒の障害の状態や特性等により、児童生徒自らが活動を記録することが困難な場合などにおいては、「キャリア・パスポート」の目的に迫る観点から、児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた取組や適切な内容を個別の教育支援計画や個別の指導計画に記載することをもって「キャリア・パスポート」の活用に代えることも可能としています。
2. したがって個別の教育支援計画や個別の指導計画が作成されていることのみをもって、「キャリア・パスポート」の活用に代えるということではなく、あくまでも、その内容が「キャリア・パスポート」の目的に沿っているかどうか留意いただくことが重要となります。

(参考：事務連絡「キャリア・パスポート」の様式例と指導上の留意事項)

3 目的

小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐもの教師にとっては、その記述をもとに対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し系統的な指導をするもの。

「キャリア・パスポート」に関する Q & A について (令和 3 年 2 月改訂) 令和 3 年 2 月 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 より引用

国・府・市の参考資料

<文部科学省等>

小学校 キャリア教育の手引き	中学校 キャリア教育の手引き	高等学校 キャリア教育の手引き	キャリア・パスポートに関するQ & Aについて
			
令和4年3月 文部科学省 初等中等教育局児童生徒課	平成23年3月 文部科学省 初等中等教育局児童生徒課	平成23年11月 文部科学省 初等中等教育局児童生徒課	令和3年2月 文部科学省 初等中等教育局児童生徒課
都道府県・政令指定都市における取組事例	キャリア教育の実践：校内研修シリーズ No41		
			
文部科学省 初等中等教育局児童生徒課	平成30年5月2日 独立行政法人教職員支援機構		

<大阪府>

大阪府キャリア教育リーフレット①	大阪府キャリア教育リーフレット②	大阪府キャリア教育を推進するために	大阪府キャリア教育プログラム
			
平成31年3月 大阪府教育庁 小中学校課	令和元年12月 大阪府教育庁 小中学校課	平成17年4月 大阪府教育委員会	平成23年3月 大阪府教育委員会

<門真市>

門真市第6次総合計画	門真市第2期教育大綱	門真市 教育振興基本計画2021	門真市 門真のめざす教育とこれからの学校づくり 実施方針
			
令和2年3月 門真市	令和2年3月 門真市	令和3年2月 門真市教育委員会	令和3年3月 門真市教育委員会

